

## IV 学生意識調査

## i. 調査の概要

---

### 1. 学生意識調査の目的

本調査は、区政の各分野について葛飾区在住・在学の高校生・大学生の意識や意向などを把握し、今後の区政運営の資料とすることを目的としたものである。

### 2. 学生意識調査の内容

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| (1) 定住性          | (13) 高齢社会への対応    |
| (2) 区政への関心       | (14) 男女平等社会の実現   |
| (3) 住民参加         | (15) 産業          |
| (4) 広報媒体         | (16) 観光          |
| (5) I T          | (17) 防災          |
| (6) 社会参加活動       | (18) 公園・河川敷      |
| (7) 地域貢献活動に対する支援 | (19) 道路          |
| (8) 生涯学習         | (20) 環境          |
| (9) 健康           | (21) ごみの減量・リサイクル |
| (10) 高齢者支援       | (22) 感染症対策       |
| (11) 障害者支援       |                  |
| (12) 子育て         |                  |

### 3. 学生意識調査設計

- |          |   |
|----------|---|
| (1) 調査対象 | 区内に所在する高校・大学の在校生のうち、区内に居住する男女   |
| (2) 標本数  | 730   |
| (3) 調査方法 | 学校の協力による調査票配布・回収<br>(調査協力／都立葛飾商業高等学校、都立葛飾総合高等学校、都立葛飾野高等学校、都立農産高等学校、都立南葛飾高等学校、共栄学園高等学校、修徳高等学校、東京聖栄大学、東京理科大学) |
| (4) 調査時期 | 平成 30 年 6 月 1 日～6 月 29 日  |

### 4. 学生意識調査機関

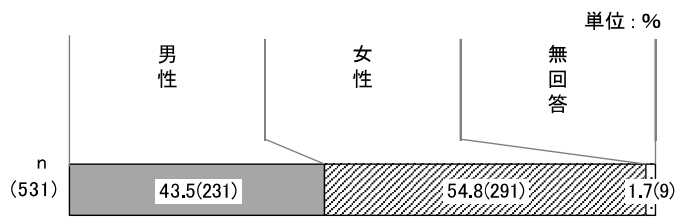
中央開発株式会社

### 5. 学生意識調査回収結果

標本数	有効回答数	有効回収率
730	531	72.7%

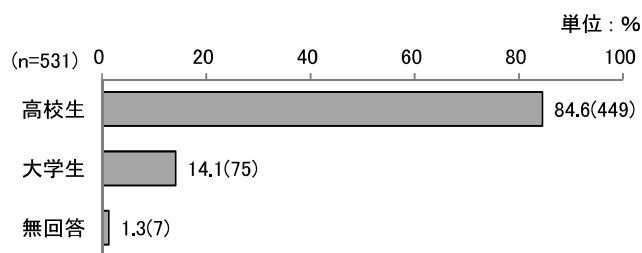
## ii. 調査回答者のプロフィール

### (1) 性別



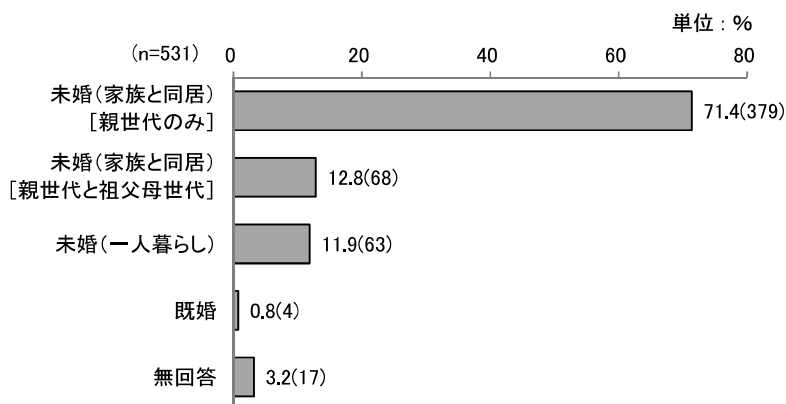
調査回答者の性別は、「男性」(43.5%)が4割強、「女性」(54.8%)が5割台半ばとなっている。

### (2) 学校区分



調査回答者の学校区分は、「高校生」(84.6%)が8割台半ば、「大学生」(14.1%)は1割台半ばとなっている。

### (3) 結婚の状況 (家族構成)



調査回答者の結婚の状況 (家族構成) は、「未婚 (家族と同居) [親世代のみ]」(71.4%)が7割強と最も高く、次いで「未婚 (家族と同居) [親世代と祖父母世代]」(12.8%)、「未婚 (一人暮らし)」(11.9%)と続いている。

### iii. 調査結果の詳細

---

#### <調査結果の要約>

##### 1. 定住性

###### (1) 居住年数 (問1 247 ページ)

###### ◆ 『15年以上』が6割台半ば

葛飾区の居住年数は、「15年以上」(15.3%)と「生まれた時から(15年以上)」(49.3%)を合わせた『15年以上』(64.6%)が6割台半ばとなっている。

###### (2) 定住意向 (問2 247 ページ)

###### ◆ 『葛飾区内に住むつもり』が6割近く

葛飾区に対する定住意向は、「当分の間は住むつもり」(34.8%)が最も高く、これに「住み続けるつもり」(22.6%)を合わせた『葛飾区内に住むつもり』(57.4%)は6割近くとなっている。一方、「区外へ移りたい」(9.8%)は1割未満となっている。

###### (2-1) 住み続けたい理由 (問2-1 248 ページ)

###### ◆ 「持ち家があるから」、「買い物など日常生活が便利だから」、「交通の便が良いから」の順

葛飾区に住み続けたい主な理由は、「持ち家があるから」(56.4%)が6割近くと最も高く、次いで「買い物など日常生活が便利だから」(29.8%)、「交通の便が良いから」(21.3%)と続いている。

###### (2-2) 区外へ移りたい理由 (問2-2 249 ページ)

###### ◆ 「持ち家でないから」が最多

区外へ移りたい主な理由は、「持ち家でないから」(21.2%)が2割強と最も高く、次いで「買い物など日常生活が不便だから」(11.5%)と「交通の便が悪いから」(11.5%)が同率で続いている。

###### (3) 愛着の有無 (問3 250 ページ)

###### ◆ 『愛着がある』が6割弱

葛飾区への愛着の有無について、「どちらかというと思う」(38.8%)が最も高く、これと「そう思う」(21.1%)を合わせた『愛着がある』(59.9%)は6割弱となっている。

一方、「どちらかというと思わない」(5.6%)と「そう思わない」(10.9%)を合わせた『愛着がない』(16.5%)は、2割近くとなっている。

(4) 誇りの有無 (問3 250 ページ)

◆ 『誇りに思う』が4割強

葛飾区への誇りの有無について、「どちらかというと思う」(30.9%)が最も高く、これと「そう思う」(13.0%)を合わせた『誇りに思う』(43.9%)は4割強となっている。

一方、「どちらかというと思わない」(11.3%)と「そう思わない」(13.6%)を合わせた『誇りに思わない』(24.9%)は、2割台半ばとなっている。

(5) 人に区を勧めたい意思 (問4 251 ページ)

◆ 『勧めたいと思う』が3割強

人に区を勧めたい意思について、「どちらかというと思う」(21.8%)が最も高く、これと「そう思う」(11.5%)を合わせた『勧めたいと思う』(33.3%)は3割強となっている。

一方、「どちらかというと思わない」(18.5%)と「そう思わない」(11.5%)を合わせた『勧めたいと思わない』(30.0%)は、3割となっている。

(5-1) アピール事項 (問4-1 251 ページ)

◆ 「伝統文化・祭りや行事(菖蒲まつり、葛飾納涼花火大会など)」が3割近く

人に区を勧めるときのアピール事項は、「伝統文化・祭りや行事(菖蒲まつり、葛飾納涼花火大会など)」(27.1%)が3割近くと最も高く、次いで「知名度の高い施設や街並み(柴又帝釈天、堀切菖蒲園、水元公園など)」(26.0%)、「葛飾区ゆかりのキャラクター(寅さん、こち亀、キャプテン翼、モンチッチ、リカちゃんなど)」(23.7%)と続いている。

## 2. 区政への関心

(1) 整備・充実が必要な施設

<子育て・福祉施設> (問5 (1) 252 ページ)

◆ 「保育園(認定こども園を含む)」が約4割

整備・充実が必要な「子育て・福祉施設」は、「保育園(認定こども園を含む)」(40.7%)が約4割と最も高く、次いで「子育て支援拠点施設」(15.8%)、「児童館」(14.7%)と続いている。

なお、「特にない」(29.8%)は3割弱となっている。

<教育・文化・スポーツ施設> (問5 (2) 253 ページ)

◆ 「運動場(野球・サッカー・テニスなど)」が4割強

整備・充実が必要な「教育・文化・スポーツ施設」は、「運動場(野球・サッカー・テニスなど)」(42.6%)が4割強と最も高く、次いで「体育館」(33.7%)、「図書館」(32.2%)と続いている。

なお、「特にない」(19.8%)は2割弱となっている。

### <都市施設> (問5 (3) 254 ページ)

#### ◆ 「自転車置き場」が4割強

整備・充実が必要な「都市施設」は、「自転車置き場」(43.1%)が4割強と最も高く、次いで「公園・児童遊園」(26.9%)、「交通機関」(23.0%)と続いている。

### (2) 区に力を入れてほしいもの (問6 255 ページ)

#### ◆ 「防災対策」が3割近く

区に力を入れてほしいものは、「防災対策」(26.2%)が3割近くと最も高く、次いで「公園の整備・緑化の推進」(19.8%)、「交通安全対策(自転車対策を含む)」(14.3%)と続いている。

## 3. 住民参加

### (1) 区政への参加意向 (問7 256 ページ)

#### ◆ 『参加したい』が2割近く

区政への参加意向は、「わからない」(45.8%)が4割台半ばと最も高く、「参加するつもりはない」(36.9%)は4割近くとなっている。

一方、「機会があったら参加したい」(6.0%)と「参加したい気持ちはある」(10.0%)を合わせた『参加したい』(16.0%)は2割近くとなっている。

### (1-1) 区政への参加方法 (問7-1 257 ページ)

#### ◆ 「インターネット、はがき、手紙、広聴会などを通じて意見を述べる」が約5割

区政への参加方法は、「インターネット、はがき、手紙、広聴会などを通じて意見を述べる」(50.6%)が約5割と最も高く、次いで「NPO・ボランティアなどの活動を通して区政に参加する」(29.4%)、「町会・自治会、交通安全、防犯・防災組織などの活動を通して区政に参加する」(14.1%)と続いている。

## 4. 広報媒体

### (1) 区の情報の入手方法 (問8 258 ページ)

#### ◆ 「区のお知らせ『広報かつしか』」が3割弱

区の情報の入手方法は、「区のお知らせ『広報かつしか』」(29.2%)が3割弱と最も高く、次いで「友人・知人からの口コミ」(16.6%)、「ポスター(公共施設や駅)」(13.2%)と続いている。

なお、「特になし」(34.7%)は3割台半ばとなっている。

### (2) インターネットの利用状況 (問9 259 ページ)

#### ◆ 『利用している・利用したい』が9割強

インターネットの利用状況は、「利用している」(91.1%)が最も高く、これに「利用していないが、機会があれば利用したい」(1.5%)を合わせた『利用している・利用したい』(92.7%)が9割強となっている。一方、「利用するつもりはない」は1.1%となっている。

(2-1) インターネットの利用方法 (問9-1 259 ページ)

◆ 「スマートフォンを利用」が9割台半ば

インターネットの利用方法は、「スマートフォンを利用」(95.5%)が9割台半ばと最も高く、次いで「パソコンを利用」(37.6%)、「携帯電話を利用」(6.2%)と続いている。

## 5. IT

(1) 「葛飾区総合アプリ」の利用状況 (問10 260 ページ)

◆ 「はい」が1割未満

「葛飾区総合アプリ」の利用状況は、「いいえ」(97.2%)が10割近くとなっており、「はい」(1.9%)は1割未満となっている。

(1-1) 「葛飾区総合アプリ」のよく利用する機能 (問10-1 261 ページ)

◆ 「AR機能」が最多

「葛飾区総合アプリ」でよく使う機能は、「AR機能」(50.0%)が5割と最も高くなっており、次いで「コミュニケーション支援ボード」(20.0%)、「観光・産業」(10.0%)、「妊娠・子育て」(10.0%)、「くらし」(10.0%)、「教育・生涯学習」(10.0%)、「防災・防犯」(10.0%)と続いている。

なお、「葛飾区総合アプリ」に追加してほしい機能については、具体的な回答は得られなかった。

## 6. 社会参加活動

(1) 社会的活動への参加 (問11 262 ページ)

◆ 『社会的活動の経験あり』が3割強

社会的活動への参加は、「現在している」(3.4%)と「現在はしていないが、過去にしたことがある」(28.4%)を合わせた『社会的活動の経験あり』(31.8%)が3割強となっている。また、「現在も過去もしていないが、今後してみたい」(24.1%)は2割台半ばとなっている。一方、「過去にしたことがなく、今後もしたくない」(42.4%)は、4割強となっている。

(1-1) 現在参加している・参加してみたい社会的活動 (問11-1 263 ページ)

◆ 「クリーン作戦などを含めた町会・自治会、交通安全、防犯・防災組織の活動」が4割強

現在参加している・参加してみたい社会的活動は、「クリーン作戦などを含めた町会・自治会、交通安全、防犯・防災組織の活動」(41.4%)が4割強と最も高くなっており、次いで「子どものスポーツ活動の支援に関する活動」(18.2%)、「自然環境保護に関する活動」(14.8%)、「文化・芸術に関する活動」(14.8%)と続いている。

(1-2) 社会的活動をしたくない理由 (問 11-2 264 ページ)

◆ 「忙しくて時間がないから」が5割近く

社会的活動をしたくない理由は、「忙しくて時間がないから」(48.9%)が5割近くと最も高く、次いで「興味や関心がないから」(42.2%)、「きっかけがないから」(39.1%)と続いている。

## 7. 地域貢献活動に対する支援

(1) 地域貢献活動に対する支援 (問 12 265 ページ)

◆ 「補助金などの経済的支援の拡充」が4割強

地域貢献活動に対する支援は、「補助金などの経済的支援の拡充」(41.2%)が4割強と最も高く、次いで「活動の機会の確保」(28.8%)、「専門家のアドバイスや情報提供の充実」(26.2%)と続いている。

## 8. 生涯学習

(1) 最近1年間における生涯学習の実施状況 (問 13 266 ページ)

◆ 「趣味的なもの」が5割近く

最近1年間における生涯学習の実施状況は、「趣味的なもの」(47.3%)が5割近くと最も高く、次いで「学校の正規過程での学習」(39.4%)、「健康・スポーツ」(35.2%)と続いている。  
なお、「特になし」(18.5%)は2割近くとなっている。

(2) 生涯学習を充実していくために重要なこと (問 14 267 ページ)

◆ 「生涯学習の活動ができる施設を利用しやすくすること」が5割近く

生涯学習を充実していくために重要なことは、「生涯学習の活動ができる施設を利用しやすくすること」(47.5%)が5割近くと最も高く、次いで「学習、文化、スポーツ活動などのリーダーや指導者を育成すること」(16.4%)、「インターネット、通信教育を活用した生涯学習の機会を提供すること」(15.6%)と続いている。

(3) 誰もがスポーツを楽しむために重要なこと (問 15 268 ページ)

◆ 「時間に左右されず、安全にスポーツや運動できる場所があること」が5割台半ば

誰もがスポーツを楽しむために重要なことは、「時間に左右されず、安全にスポーツや運動できる場所があること」(55.9%)が5割台半ばと最も高く、次いで「既存スポーツ施設の整備(活動場所の拡張)」(43.3%)、「身近な場所で気軽にスポーツ参加ができる地域スポーツクラブがあること」(31.3%)と続いている。



## 9. 健康

(1) 健康な生活を送るために力を入れてほしいこと (問 16 269 ページ)

### ◆ 「食品の安全性に関すること」と「受動喫煙対策」が3割台半ば

健康な生活を送るために力を入れてほしいことは、「食品の安全性に関すること」(35.8%) および「受動喫煙対策」(35.8%) が3割台半ばと最も高く、次いで「飲み水の安全性に関すること」(31.5%)、「健康診査・がん検診」(29.2%) と続いている。

## 10. 高齢者支援

(1) 介護生活に望むこと (問 17 270 ページ)

### ◆ 『自宅で生活』が5割近く

介護生活に望むことは、「自宅で介護保険サービスなどを利用しながら生活を続けたい」(24.5%) が最も高くなっている。また、これに「介護サービスなどを利用せず、自宅で家族の介護を受けながら生活を続けたい」(22.8%) を合わせた『自宅で生活』(47.3%) が5割近くとなっている。

## 11. 障害者支援

(1) 障害者が安心して暮らすために重要なこと (問 18 271 ページ)

### ◆ 「道路や公園の段差解消や点字ブロック設置などの整備」が5割強

障害者が安心して暮らすために重要なことは、「道路や公園の段差解消や点字ブロック設置などの整備」(52.2%) が5割強と最も高く、次いで「障害のある方に対する周囲の人々の理解」(48.4%)、「障害のある方への差別の解消」(29.4%) と続いている。

## 12. 子育て

(1) 少子化対策における必要な施策 (問 19 272 ページ)

### ◆ 「子どもを短時間でも、気軽に預けられる保育施設を充実させる」が3割台半ば

少子化対策における必要な施策は、「子どもを短時間でも、気軽に預けられる保育施設を充実させる」(35.4%) が3割台半ばと最も高く、次いで「子どもが、のびのび遊べる環境づくりを行う」(34.1%)、「男性の家事や育児への参加の促進を啓発する」(33.0%) と続いている。

(2) 子どもたちの放課後等の過ごし方に必要な施策 (問 20 273 ページ)

### ◆ 「集団での遊びや運動遊びなど体を使った活動を安全に行える場所を提供する」が5割強

子どもたちの放課後等の過ごし方に必要な施策は、「集団での遊びや運動遊びなど体を使った活動を安全に行える場所を提供する」(52.9%) が5割強と最も高く、次いで「読書や工作遊びなどゆったりと安心して過ごせる場所を提供する」(33.3%)、「子どもを安心して預けられるよう学童保育クラブ事業を推進する」(23.7%) と続いている。

## 13. 高齢社会への対応

(1) 高齢社会の社会参加を促すために必要な施策 (問 21 274 ページ)

### ◆ 「バリアフリーのまちづくりを進める」が3割強

高齢社会の社会参加を促すために必要な施策は、「バリアフリーのまちづくりを進める」(33.1%)が3割強と最も高く、次いで「高齢者の起業への助成や支援を行う」(28.6%)、「高齢者が気軽に散歩や運動ができる施設や場所を整備する」(25.2%)と続いている。

(2) 民生委員・児童委員の認知度 (問 22 275 ページ)

### ◆ 『知っている・会ったことがある』が1割未満

民生委員・児童委員の認知度は、「よく知っている」(6.2%)と「会ったことはあるが、よく知らない」(2.8%)を合わせた『知っている・会ったことがある』(9.0%)が、1割未満となっている。

一方、「知らない」(78.0%)は8割近くとなっている。

## 14. 男女平等社会の実現

(1) 男女平等社会の進展状況 (問 23 276 ページ)

### ◆ 『平等になっている』が3割弱

男女平等社会の進展状況は、「十分平等になっている」(19.6%)と「かなり平等になっている」(10.4%)を合わせた『平等になっている』(29.9%)が3割弱となっている。

(1-1) 男女の不平等を感じる点 (問 23-1 277 ページ)

### ◆ 「家事や育児のほとんどを女性が担っていること」が4割弱

男女の不平等を感じる点は、「家事や育児のほとんどを女性が担っていること」(39.0%)が4割弱と最も高く、次いで「『男は仕事、女は家庭』という考えが人々の間にあること」(31.1%)、「職場や学校などで、セクシュアル・ハラスメントがおこること」(28.1%)と続いている。

## 15. 産業

(1) 商業振興について大切なこと (問 24 (1) 278 ページ)

### ◆ 「買い物ポイントカードや営業時間延長など、商店街として消費者の利便性に配慮したサービスの取り組み」が4割弱

商業振興について大切なことは、「買い物ポイントカードや営業時間延長など、商店街として消費者の利便性に配慮したサービスの取り組み」(39.5%)が4割弱と最も高く、次いで「イベントの実施による賑わいのある商店街づくり」(26.4%)、「街路・街路灯・駅前等の整備など、快適な買い物環境の整備」(25.6%)と続いている。

(2) 工業振興について大切なこと (問 24 (2) 279 ページ)

◆ 「優れた技術を有する区内製造業の育成・強化」が5割弱

工業振興について大切なことは、「優れた技術を有する区内製造業の育成・強化」(49.0%)が5割弱と最も高く、次いで「インターネット等を活用した区内製造業のPRや販路拡大への取り組み」(29.9%)、「区内伝統産業の優れた技法の継承及び後継者の育成」(22.2%)と続いている。

(3) 農業振興について大切なこと (問 24 (3) 280 ページ)

◆ 「新鮮で安全な野菜の安定供給を行うための農業者への支援」が4割強

農業振興について大切なことは、「新鮮で安全な野菜の安定供給を行うための農業者への支援」(42.9%)が4割強と最も高く、次いで「区内産野菜を身近な商店街等で購入できる機会の拡大」(40.7%)、「農業オリエンテーリングやふれあいレクリエーション農園など、土に触れ野菜収穫を体験する機会の提供」(24.3%)と続いている。

## 16. 観光

(1) 葛飾区の観光客誘致における重要なこと (問 25 281 ページ)

◆ 「寅さん、こち亀、キャプテン翼、モンチッチ、リカちゃんなどのキャラクターの活用」が4割弱

葛飾区の観光客誘致における重要なことは、「寅さん、こち亀、キャプテン翼、モンチッチ、リカちゃんなどのキャラクターの活用」(39.7%)が4割弱と最も高く、次いで「イベントの開催・充実」(33.3%)、「新しい観光ルートの設定」(24.9%)と続いている。

## 17. 防災

(1) 日頃行っている防災対策 (問 26 282 ページ)

◆ 「家具などを固定し、転倒防止を行っている」が3割台半ば

日頃行っている防災対策は、「家具などを固定し、転倒防止を行っている」(34.1%)が3割台半ばと最も高く、次いで「食料や飲料水、医薬品などを入れた非常用持出袋を用意している」(31.6%)、「家庭内で災害時の連絡方法や避難先を話し合っている」(20.9%)と続いている。

(2) 居住地域における震災時の安全性 (問 27 283 ページ)

◆ 「安全だとは思わない」が4割台半ば

居住地域における震災時の安全性は、「安全だと思う」(52.0%)が5割強となっており、「安全だとは思わない」(45.0%)は4割台半ばとなっている。

(2-1) 居住地域が震災時に安全でないと思う理由 (問 27-1 284 ページ)

◆ 「道路が狭い」が4割強

居住地域が震災時に安全でないと思う理由は、「道路が狭い」(43.5%)が4割強と最も高く、次いで「高齢者世帯が多い」(40.2%)、「木造建物が密集している」(25.5%)と続いている。

## 18. 公園・河川敷

(1) 公園に期待すること (問 28 285 ページ)

### ◆ 「遊び場」が5割強

公園に期待することは、「遊び場」(52.5%)が5割強と最も高く、次いで「スポーツの場」(35.6%)、「心を落ち着ける安らぎの場」(23.5%)と続いている。

(2) 河川敷に期待すること (問 28 286 ページ)

### ◆ 「ジョギングやサイクリングの場」が4割台半ば

河川敷に期待することは、「ジョギングやサイクリングの場」(44.3%)が4割台半ばと最も高く、次いで「スポーツの場」(23.9%)、「心を落ち着ける安らぎの場」(20.3%)と続いている。

## 19. 道路

(1) 道路施策で力を入れてほしいこと (問 29 287 ページ)

### ◆ 「自転車と歩行者が安全に利用できる道路をつくる」が5割近く

道路施策で力を入れてほしいことは、「自転車と歩行者が安全に利用できる道路をつくる」(47.3%)が5割近くと最も高く、次いで「歩道を広げる」(46.1%)、「自転車の駐輪場所をつくる」(32.6%)と続いている。

## 20. 環境

### (1) 環境保護のための行動 (問 30 288 ページ)

#### ◆ 「生活の中で発生する音や臭いに対しての、近隣への気遣いを忘れない」が実行状況と今後の実行意思で最も高い

環境保護のための行動で大切だと思うことは、「冷暖房の適正な温度設定や照明のこまめな消灯など、省エネ・節電を心がける」(96.0%)が10割近くと最も高く、次いで「生活の中で発生する音や臭いに対しての、近隣への気遣いを忘れない」(93.2%)、「レジヤーに出かけた際のごみや釣り糸は捨てずに持ちかえる」(91.5%)と続いている。

一方、「雨水貯水槽の設置などにより、雨水の有効利用をする」(68.5%)、「環境に関する講座や講演会、自然観察会などに参加する」(63.7%)は、7割未満となっている。

環境保護のための行動で実行していることは、「生活の中で発生する音や臭いに対しての、近隣への気遣いを忘れない」(85.9%)が8割台半ばと最も高く、次いで「レジヤーに出かけた際のごみや釣り糸は捨てずに持ちかえる」(82.7%)、「冷暖房の適正な温度設定や照明のこまめな消灯など、省エネ・節電を心がける」(79.5%)と続いている。

一方、「環境に関する講座や講演会、自然観察会などに参加する」(19.6%)は、2割未満となっている。

環境保護のための行動で今後(も)実行することは、「生活の中で発生する音や臭いに対しての、近隣への気遣いを忘れない」(89.8%)が9割弱と最も高く、次いで「冷暖房の適正な温度設定や照明のこまめな消灯など、省エネ・節電を心がける」(89.3%)、「レジヤーに出かけた際のごみや釣り糸は捨てずに持ちかえる」(87.9%)と続いている。

一方、「環境に関する講座や講演会、自然観察会などに参加する」(39.2%)は、4割未満となっている。

### (2) 「生物多様性」の認知度 (問 31 290 ページ)

#### ◆ 「言葉と内容とも知っている」が3割台半ば

「生物多様性」の認知度は、「言葉と内容とも知っている」(34.5%)が3割台半ばと最も高く、次いで「言葉は知っている(聞いたことがある)」(34.3%)、「言葉も内容も知らない(聞いたことがない)」(26.4%)と続いている。

## 21. ごみの減量・リサイクル

### (1) 「3つのR」の実施状況

#### <リデュース> (問 32 291 ページ)

#### ◆ 「必要なものを必要な時に買うようにしている」が6割強

「3つのR」の実施状況(リデュース)は、「必要なものを必要な時に買うようにしている」(61.6%)が6割強と最も高く、次いで「食べ残しをしない、食材を使い切る等、食べられる物がごみにならないようにしている」(43.1%)、「買い物袋を持って行き、レジ袋は使わないようにしている」(41.1%)と続いている。

<リユース> (問 32 292 ページ)

◆ 「詰め替え商品を選び、容器を繰り返し利用している」が4割台半ば

「3つのR」の実施状況（リユース）は、「詰め替え商品を選び、容器を繰り返し利用している」（45.4%）が4割台半ばと最も高く、次いで「空き箱などを家庭内の整理などに工夫して活用している」（45.2%）、「壊れたものはできるだけ修理して使っている」（25.6%）と続いている。

<リサイクル> (問 32 293 ページ)

◆ 「環境にやさしい商品や再生品を選ぶようにしている」が5割近く

「3つのR」の実施状況（リサイクル）は、「環境にやさしい商品や再生品を選ぶようにしている」（48.8%）が5割近くと最も高く、次いで「紙類、びん、缶、布類は分別し地域の集団回収に出している」（35.2%）、「紙類、びん、缶、布類は分別し集積所や区の施設など行政の資源回収に出している」（35.0%）と続いている。

(2) ごみの減量やリサイクルを推進するために重点を置くべきこと (問 33 294 ページ)

◆ 「区民・事業者・区の三者が協働してごみの減量や3Rを推進するための具体的な取り組みとして『かつしかルール』を発信し、それぞれの役割を認識した主体的な活動を促進する」が5割近く

ごみの減量やリサイクルを推進するために重点を置くべきことは、「区民・事業者・区の三者が協働してごみの減量や3Rを推進するための具体的な取り組みとして『かつしかルール』を発信し、それぞれの役割を認識した主体的な活動を促進する」（46.1%）が5割近くと最も高く、次いで「事業者に対して、製造・販売した製品を自ら回収・資源化するとともに、ごみになるものを作らない、売らないよう働きかける」（34.3%）、「区民や事業者に対して、環境にやさしい商品や再生品の購入を呼びかける」（26.2%）と続いている。

## 22. 感染症対策

(1) 新興感染症が発生した場合に充実や継続するべきだと思うこと (問 34 295 ページ)

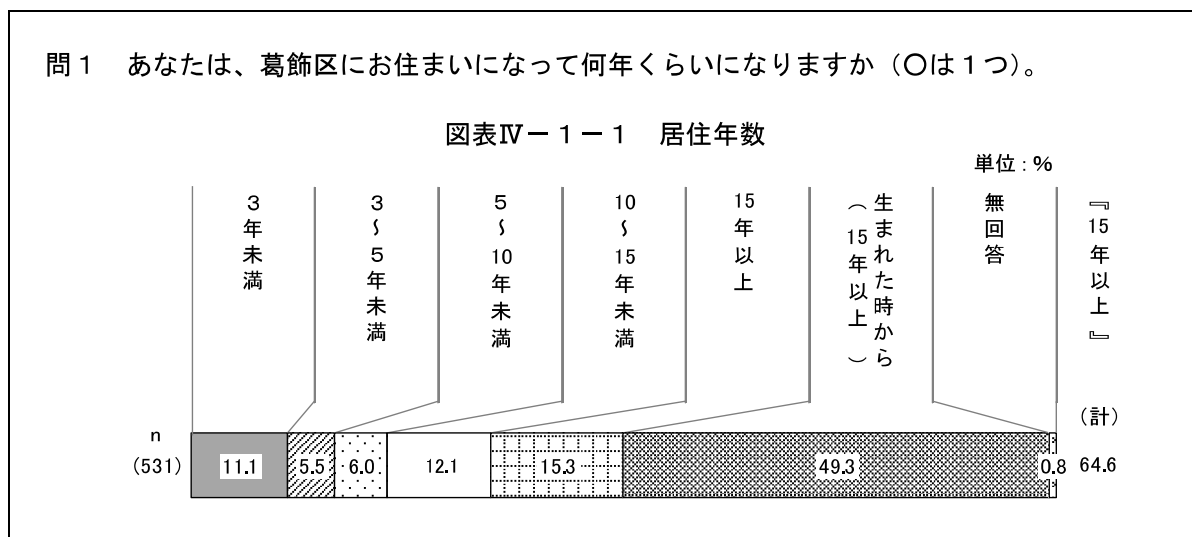
◆ 「予防接種や治療薬などの確保」が5割弱

新興感染症が発生した場合に充実や継続するべきだと思うことは、「予防接種や治療薬などの確保」（49.7%）が5割弱と最も高く、次いで「マスクや消毒薬などの備蓄」（44.4%）、「該当する感染症に関する相談窓口」（44.3%）、「医療機関の受け入れ体制」（44.3%）と続いている。

# 1. 定住性

## (1) 居住年数

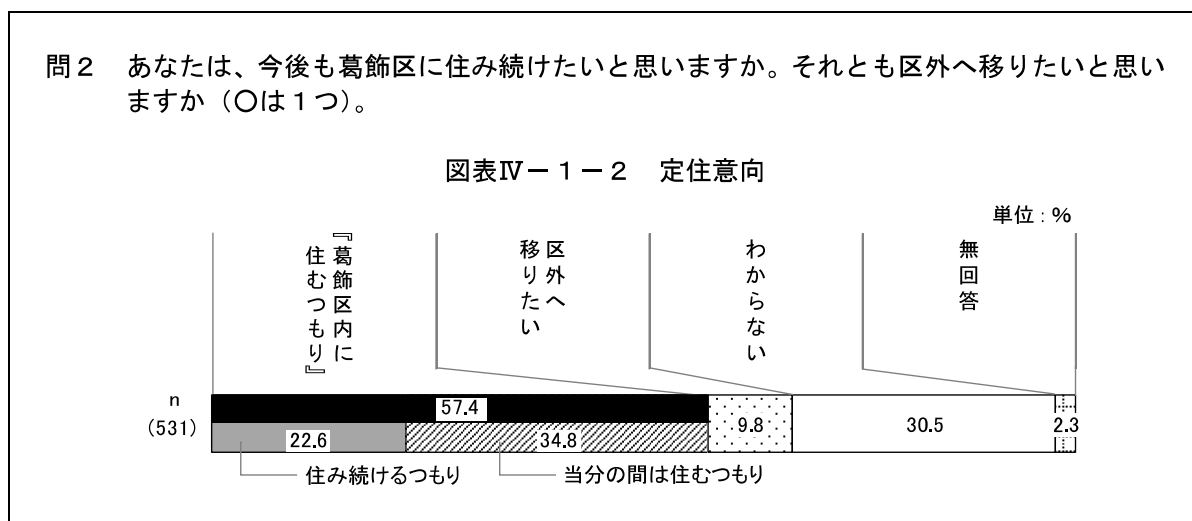
### ◆ 『15年以上』が6割台半ば



葛飾区の居住年数は、「15年以上」（15.3%）と「生まれた時から（15年以上）」（49.3%）を合わせた『15年以上』（64.6%）が6割台半ばとなっている。（図表IV-1-1）

## (2) 定住意向

### ◆ 『葛飾区内に住むつもり』が6割近く



葛飾区に対する定住意向は、「当分の間は住むつもり」（34.8%）が最も高く、これに「住み続けるつもり」（22.6%）を合わせた『葛飾区内に住むつもり』（57.4%）は6割近くとなっている。

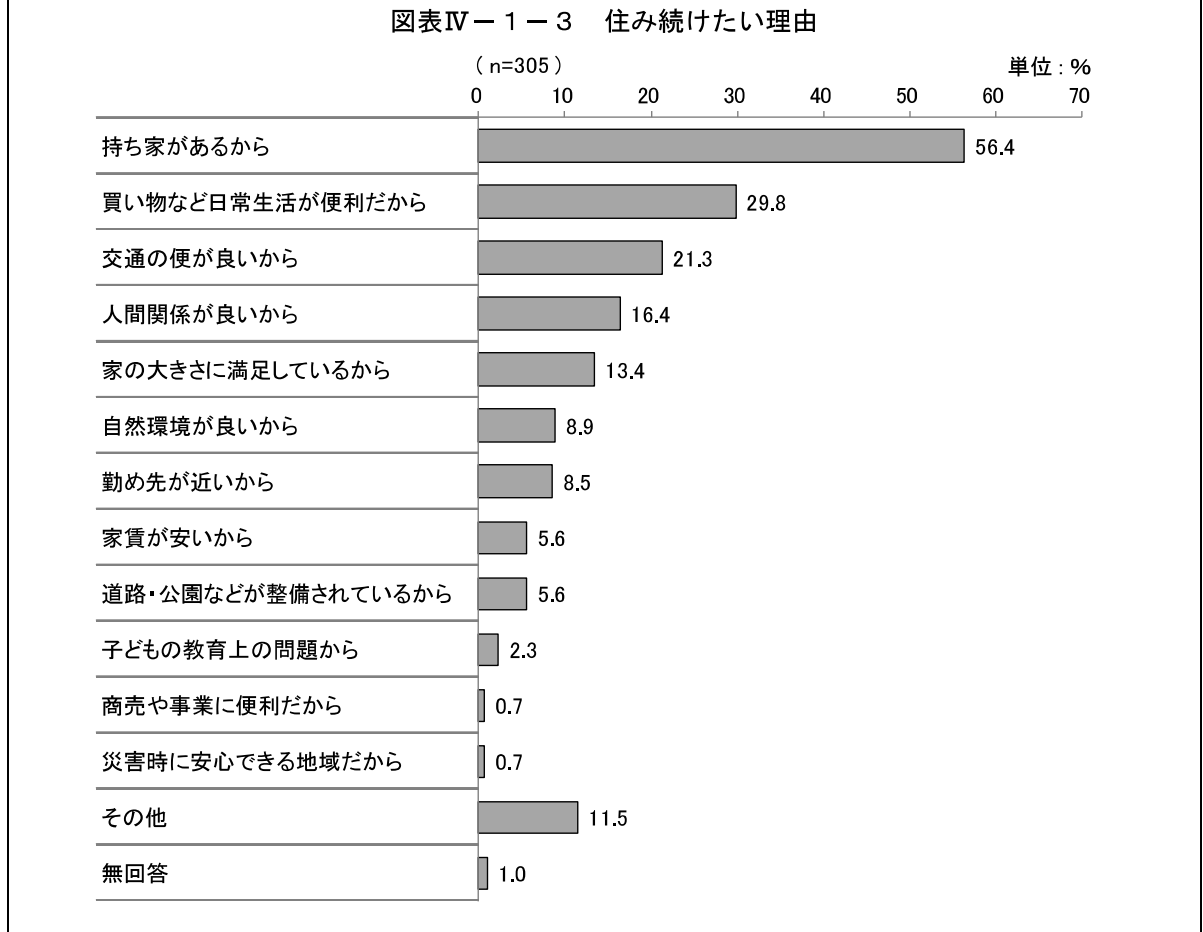
一方、「区外へ移りたい」（9.8%）は1割未満となっている。（図表IV-1-2）

## (2-1) 住み続けたい理由

### ◆ 「持ち家があるから」、「買い物など日常生活が便利だから」、「交通の便が良いから」の順

(問2で選択肢「1」か「2」を選んだ方のみお答えください。)

問2-1 あなたが、葛飾区に住み続けたい主な理由は何ですか(〇は3つまで)。



葛飾区に住み続けたい主な理由は、「持ち家があるから」(56.4%)が6割近くと最も高く、次いで「買い物など日常生活が便利だから」(29.8%)、「交通の便が良いから」(21.3%)と続いている。(図表IV-1-3)

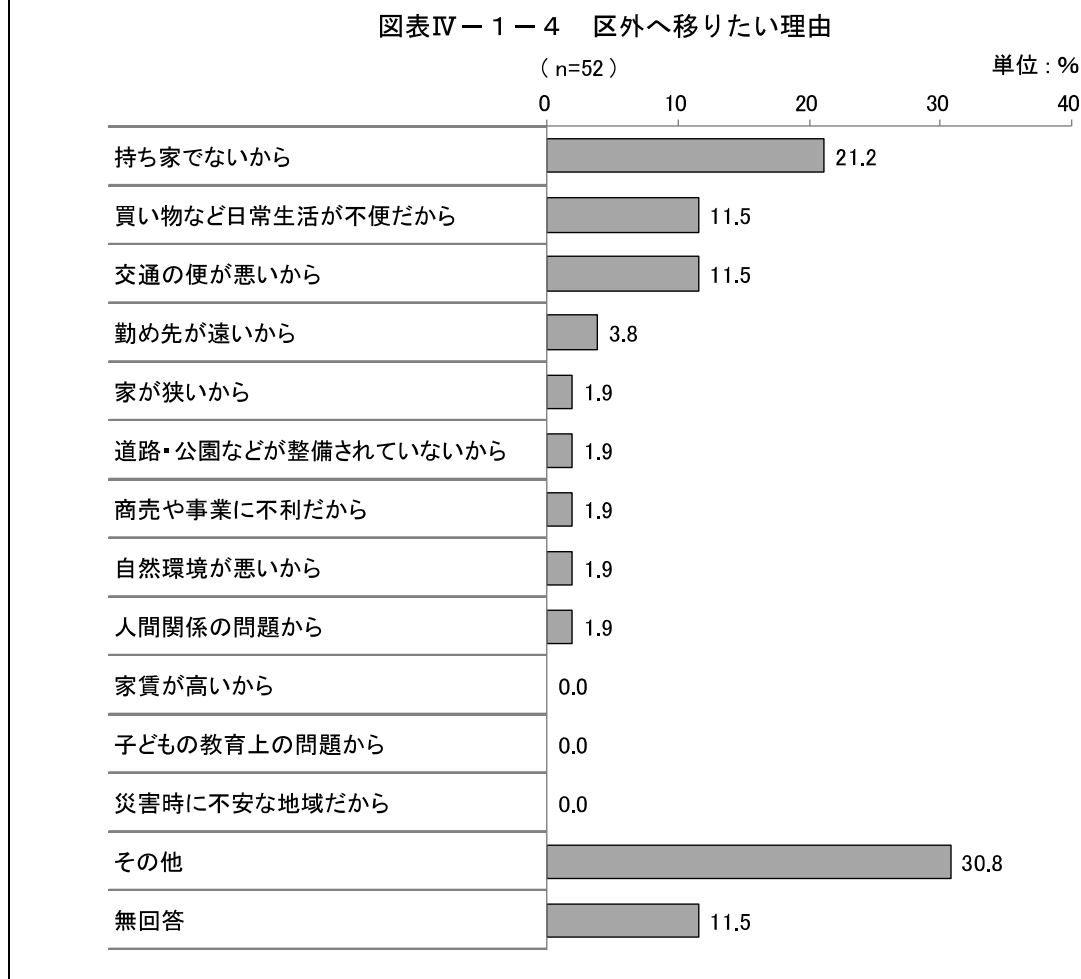


## (2-2) 区外へ移りたい理由

### ◆ 「持ち家でないから」が最多

(問2で選択肢「3」を選んだ方のみお答えください)

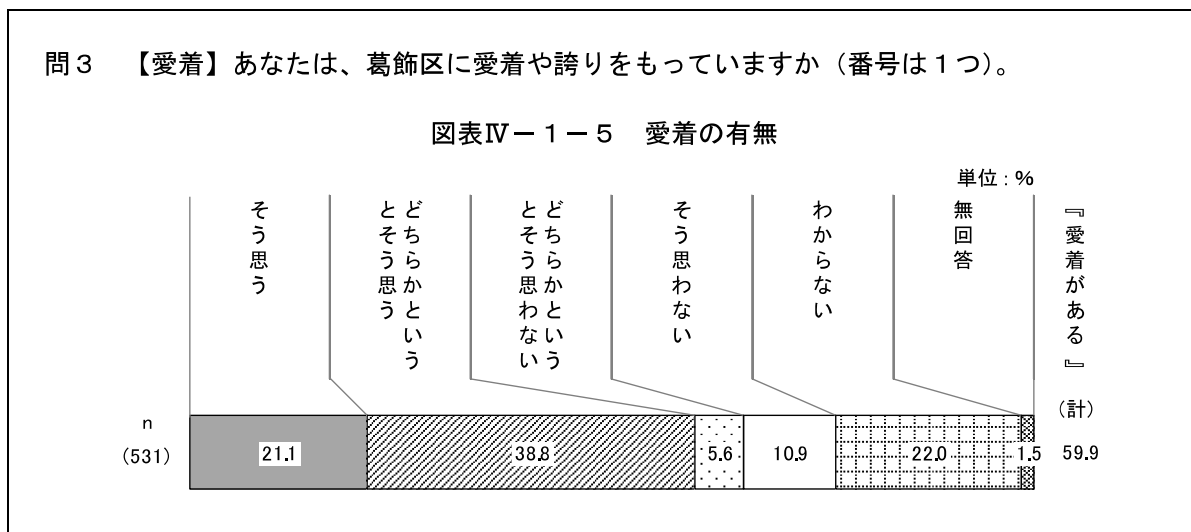
問2-2 あなたが、区外へ移りたい主な理由は何ですか(○は1つ)。



区外へ移りたい主な理由は、「持ち家でないから」(21.2%)が2割強と最も高く、次いで「買い物など日常生活が不便だから」(11.5%)と「交通の便が悪いから」(11.5%)が同率が続いている。(図表Ⅳ-1-4)

### (3) 愛着の有無

#### ◆ 『愛着がある』が6割弱

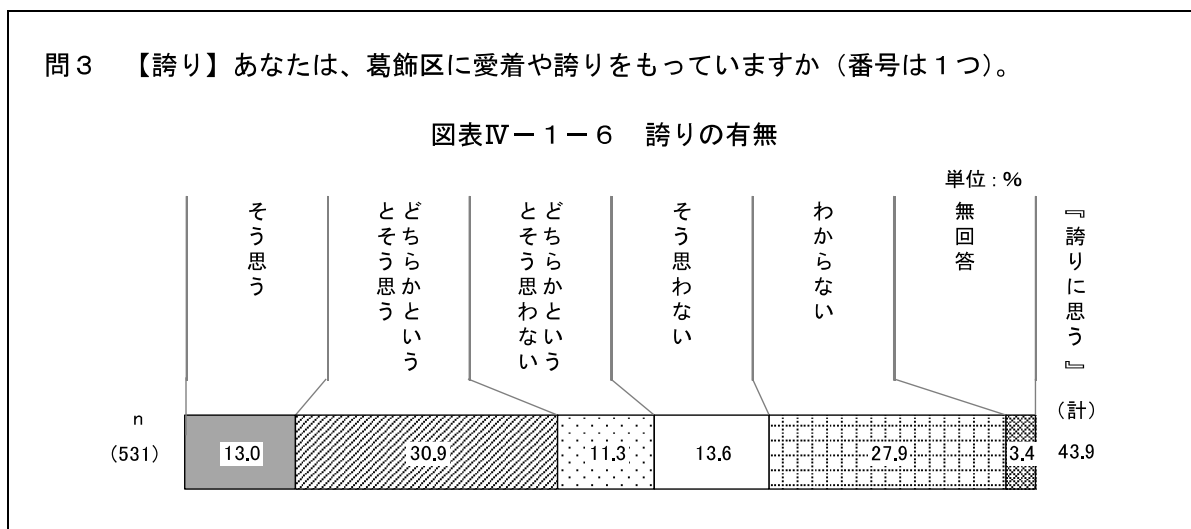


葛飾区への愛着の有無について、「どちらかというと思う」(38.8%)が最も高く、これと「そう思う」(21.1%)を合わせた『愛着がある』(59.9%)は6割弱となっている。

一方、「どちらかというと思わない」(5.6%)と「そう思わない」(10.9%)を合わせた『愛着がない』(16.5%)は、2割近くとなっている。(図表IV-1-5)

### (4) 誇りの有無

#### ◆ 『誇りに思う』が4割強

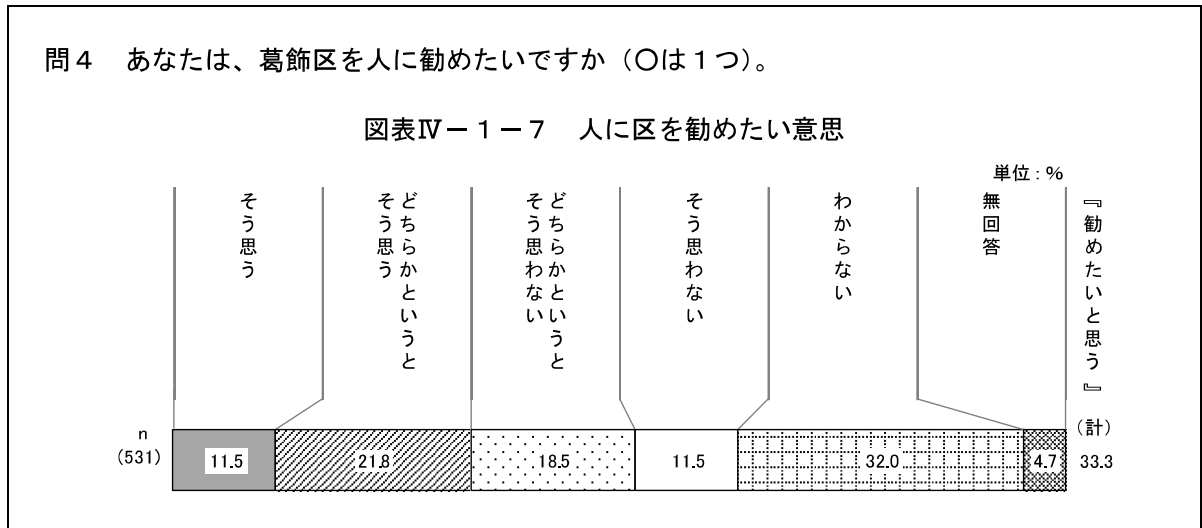


葛飾区への誇りの有無について、「どちらかというと思う」(30.9%)が最も高く、これと「そう思う」(13.0%)を合わせた『誇りに思う』(43.9%)は4割強となっている。

一方、「どちらかというと思わない」(11.3%)と「そう思わない」(13.6%)を合わせた『誇りに思わない』(24.9%)は、2割台半ばとなっている。(図表IV-1-6)

## (5) 人に区を勧めたい意思

### ◆ 『勧めたいと思う』が3割強

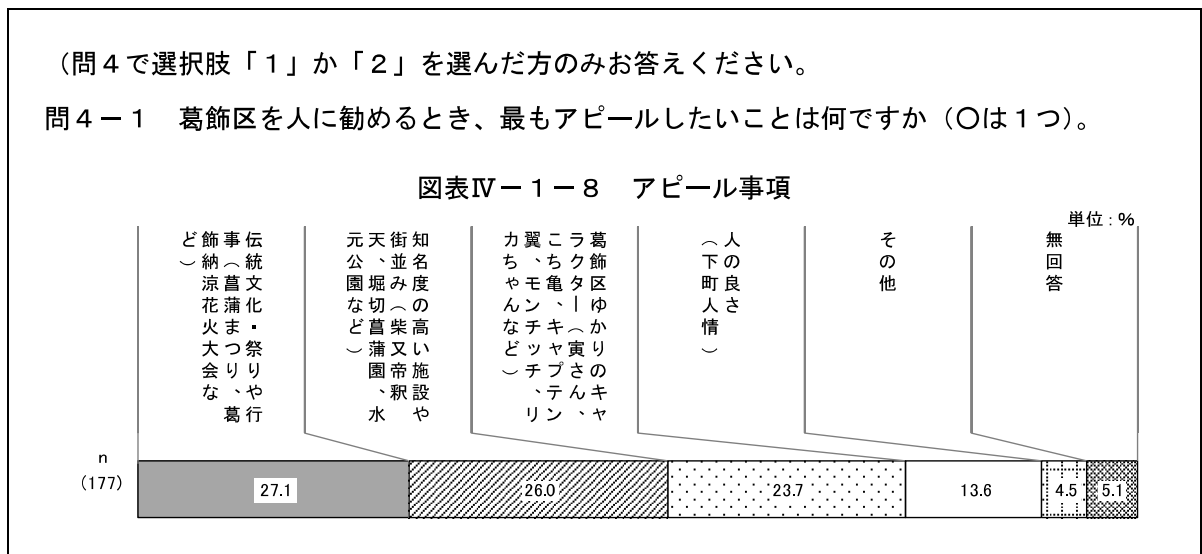


人に区を勧めたい意思について、「どちらかというと思う」(21.8%)が最も高く、これと「そう思う」(11.5%)を合わせた『勧めたいと思う』(33.3%)は3割強となっている。

一方、「どちらかというと思わない」(18.5%)と「そう思わない」(11.5%)を合わせた『勧めたいと思わない』(30.0%)は、3割となっている。(図表IV-1-7)

## (5-1) アピール事項

### ◆ 「伝統文化・祭りや行事（菖蒲まつり、葛飾納涼花火大会など）」が3割近く



人に区を勧めるときのアピール事項は、「伝統文化・祭りや行事」(27.1%)が3割近くと最も高く、次いで「知名度の高い施設や街並み」(26.0%)、「葛飾区ゆかりのキャラクター」(23.7%)と続いている。(図表IV-1-8)

## 2. 区政への関心

### (1) 整備・充実が必要な施設

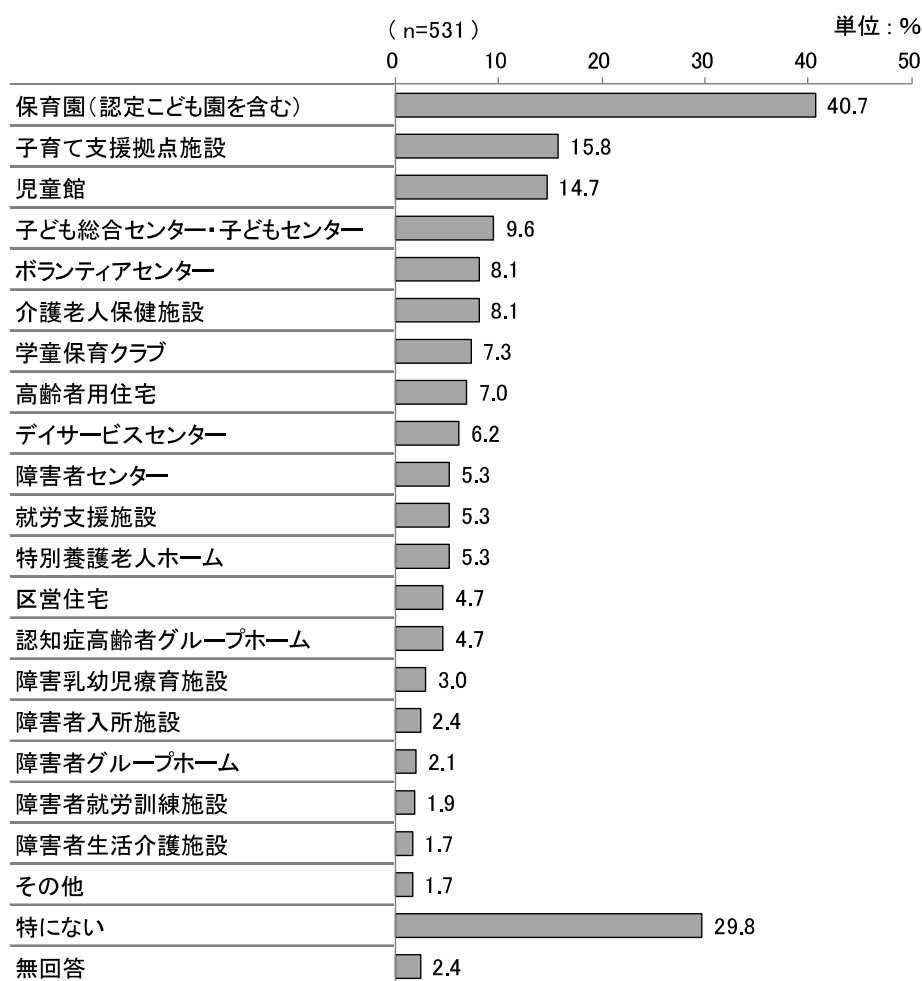
#### <子育て・福祉施設>

#### ◆ 「保育園（認定子ども園を含む）」が約4割

問5 今後、葛飾区ではどのような施設の整備・充実を図っていくことが必要だと思いますか。

(1) 子育て、福祉施設について（〇は3つまで）。

図表Ⅳ-2-1 整備・充実が必要な施設<子育て・福祉施設>



整備・充実が必要な「子育て・福祉施設」は、「保育園（認定子ども園を含む）」（40.7%）が約4割と最も高く、次いで「子育て支援拠点施設」（15.8%）、「児童館」（14.7%）と続いている。

なお、「特にない」（29.8%）は3割弱となっている。（図表Ⅳ-2-1）

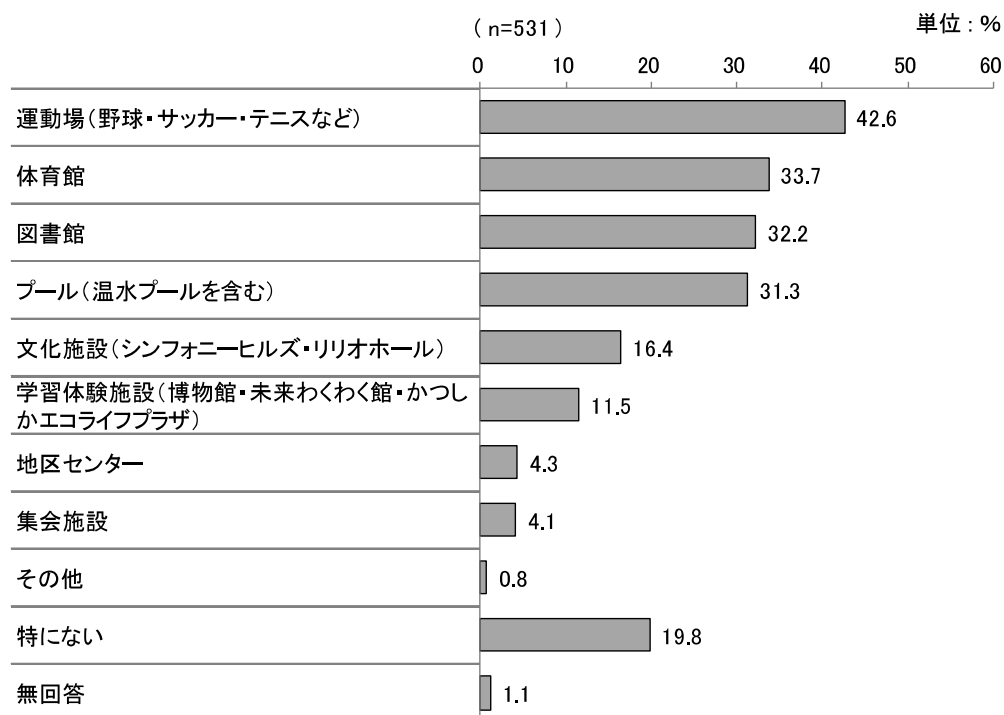
## <教育・文化・スポーツ施設>

### ◆ 「運動場（野球・サッカー・テニスなど）」が4割強

問5 今後、葛飾区ではどのような施設の整備・充実を図っていくことが必要だと思いますか。

(2) 教育・文化・スポーツ施設について（〇は3つまで）。

図表IV-2-2 整備・充実が必要な施設<教育・文化・スポーツ施設>



整備・充実が必要な「教育・文化・スポーツ施設」は、「運動場（野球・サッカー・テニスなど）」（42.6%）が4割強と最も高く、次いで「体育館」（33.7%）、「図書館」（32.2%）と続いている。なお、「特にない」（19.8%）は2割弱となっている。（図表IV-2-2）

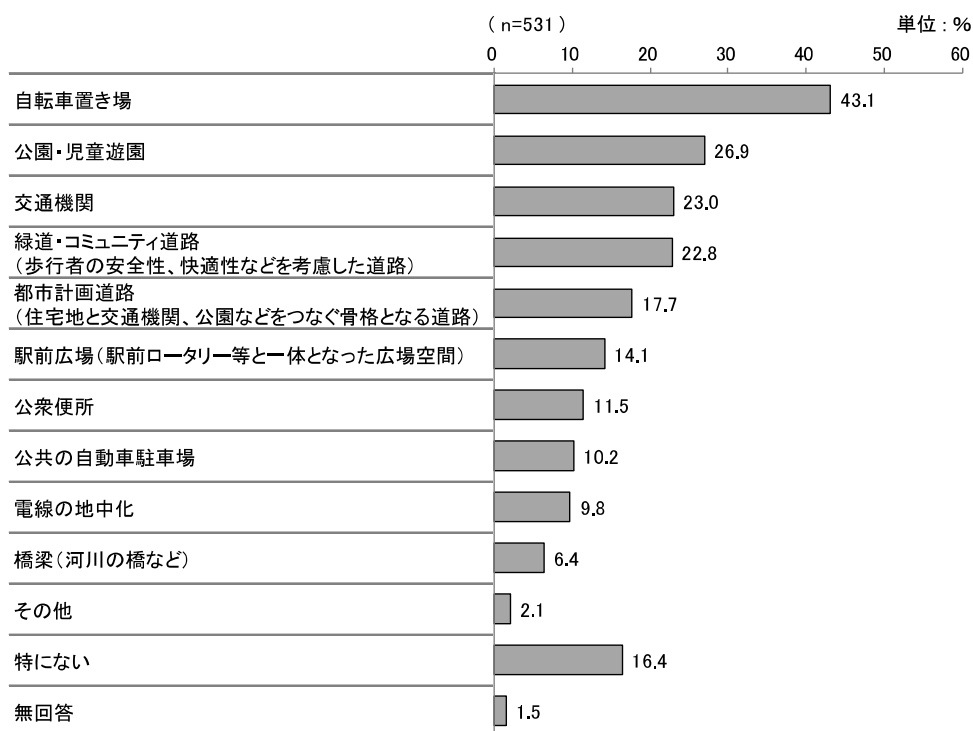
## <都市施設>

### ◆ 「自転車置き場」が4割強

問5 今後、葛飾区ではどのような施設の整備・充実を図っていくことが必要だと思いますか。

(3) 都市施設について (〇は3つまで)。

図表IV-2-3 整備・充実が必要な施設<都市施設>



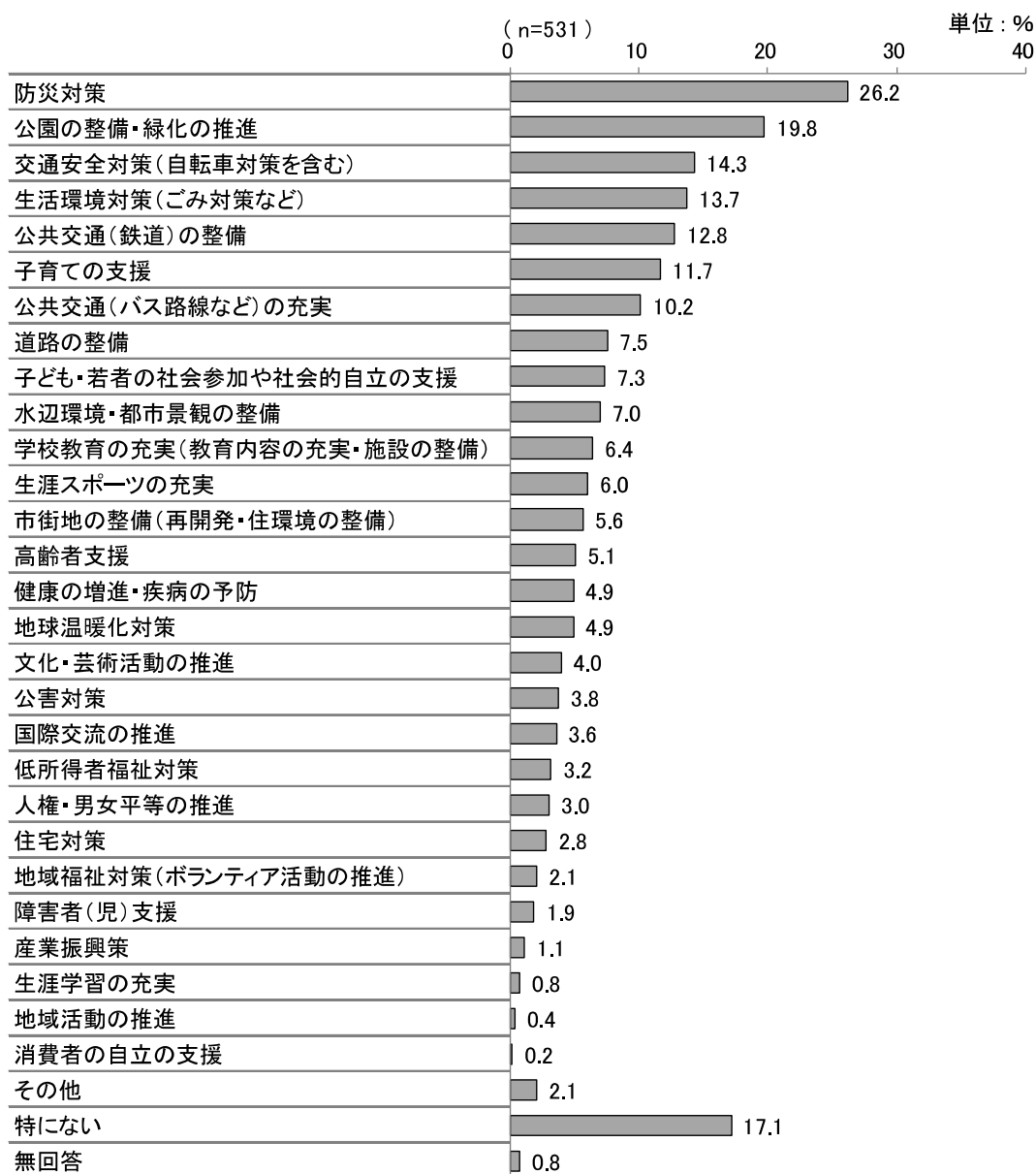
整備・充実が必要な「都市施設」は、「自転車置き場」(43.1%)が4割強と最も高く、次いで「公園・児童遊園」(26.9%)、「交通機関」(23.0%)と続いている。(図表IV-2-3)

## (2) 区に力を入れてほしいもの

### ◆ 「防災対策」が3割近く

問6 あなたが、葛飾区に対して特に力を入れてほしいと思うものは何ですか（〇は3つまで）。

図表Ⅳ-2-4 区に力を入れてほしいもの

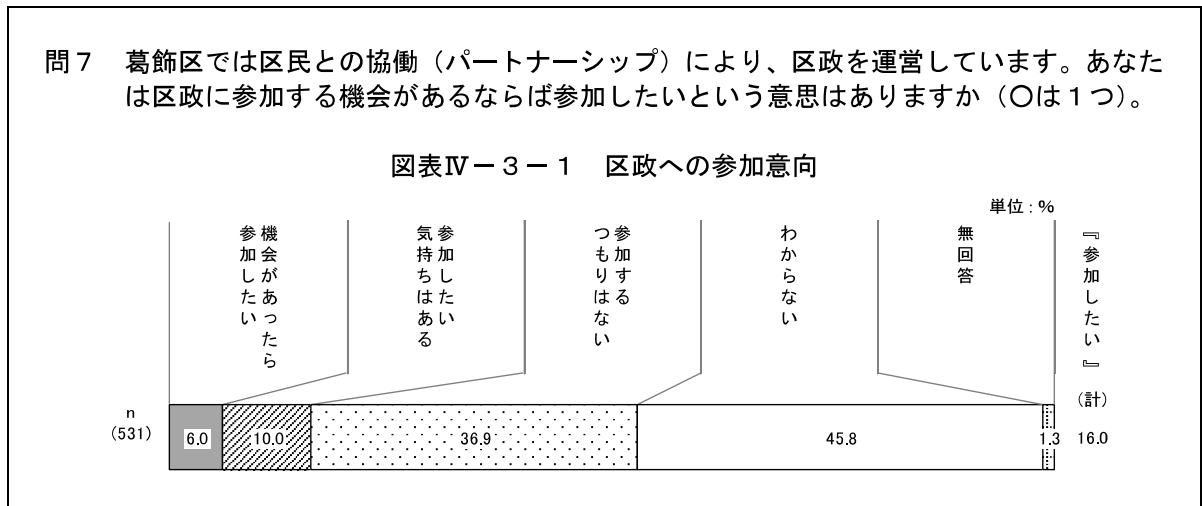


区に力を入れてほしいものは、「防災対策」(26.2%)が3割近くと最も高く、次いで「公園の整備・緑化の推進」(19.8%)、「交通安全対策(自転車対策を含む)」(14.3%)と続いている。(図表Ⅳ-2-4)

### 3. 住民参加

#### (1) 区政への参加意向

##### ◆ 『参加したい』が2割近く

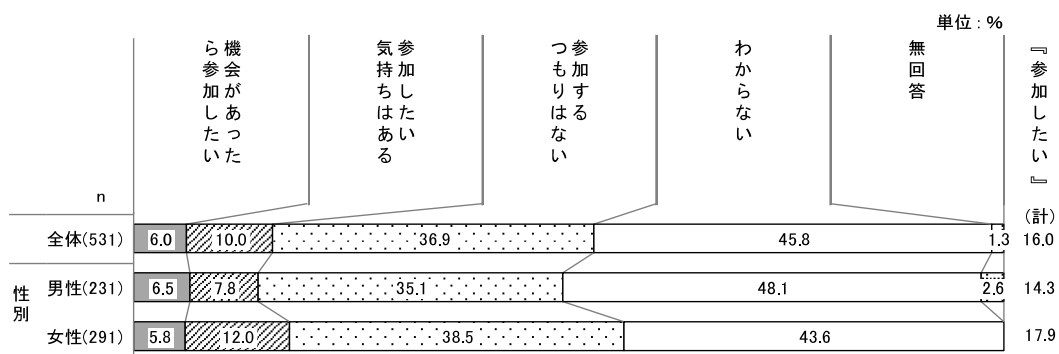


区政への参加意向は、「わからない」（45.8%）が4割台半ばと最も高く、「参加するつもりはない」（36.9%）は4割近くとなっている。

一方、「機会があったら参加したい」（6.0%）と「参加したい気持ちはある」（10.0%）を合わせた『参加したい』（16.0%）は2割近くとなっている。（図表IV-3-1）

##### 【性別】

図表IV-3-2 区政への参加意向（性別）

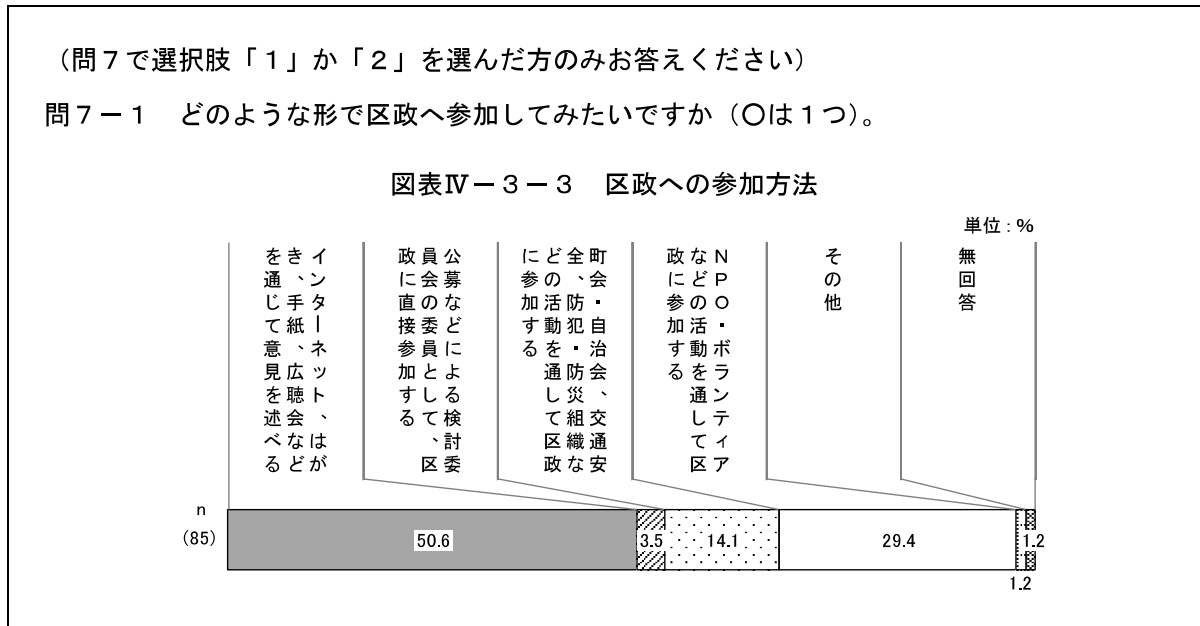


性別でみると、『参加したい』は、「女性」（17.9%）が「男性」（14.3%）より3.6ポイント高くなっている。また、「参加するつもりはない」においても、「女性」（38.5%）が「男性」（35.1%）より3.4ポイント高くなっている。（図表IV-3-2）



(1-1) 区政への参加方法

◆ 「インターネット、はがき、手紙、広聴会などを通じて意見を述べる」が約5割



区政への参加方法は、「インターネット、はがき、手紙、広聴会などを通じて意見を述べる」(50.6%)が約5割と最も高く、次いで「NPO・ボランティアなどの活動を通して区政に参加する」(29.4%)、「町会・自治会、交通安全、防犯・防災組織などの活動を通して区政に参加する」(14.1%)と続いている。(図表IV-3-3)

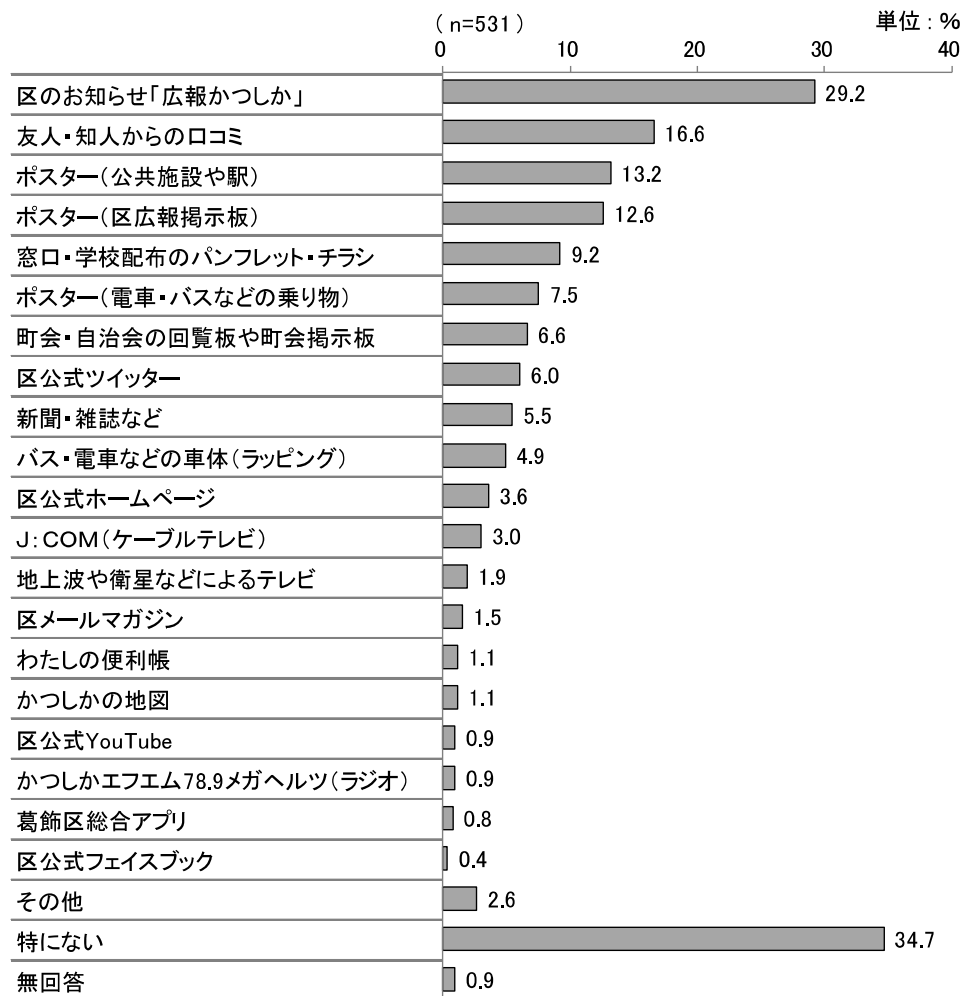
## 4. 広報媒体

### (1) 区の情報入手方法

#### ◆ 「区のお知らせ『広報かつしか』」が3割弱

問8 あなたは、どのようにして葛飾区に関するお知らせや催しなどの情報を入手していますか（〇はいくつでも）。

図表IV-4-1 区の情報入手方法



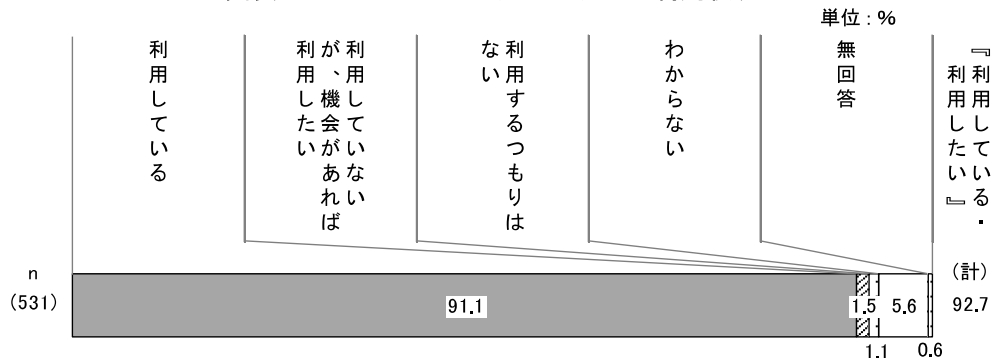
区の情報入手方法は、「区のお知らせ『広報かつしか』」(29.2%)が3割弱と最も高く、次いで「友人・知人からの口コミ」(16.6%)、「ポスター(公共施設や駅)」(13.2%)と続いている。なお、「特になし」(34.7%)は3割台半ばとなっている。(図表IV-4-1)

## (2) インターネットの利用状況

### ◆ 『利用している・利用したい』が9割強

問9 あなたは、インターネット（電子メールやスマートフォン利用も含みます）を利用していますか（○は1つ）。

図表IV-4-2 インターネットの利用状況



インターネットの利用状況は、「利用している」(91.1%)が最も高く、これに「利用していないが、機会があれば利用したい」(1.5%)を合わせた『利用している・利用したい』(92.7%)が9割強となっている。一方、「利用するつもりはない」は1.1%となっている。(図表IV-4-2)

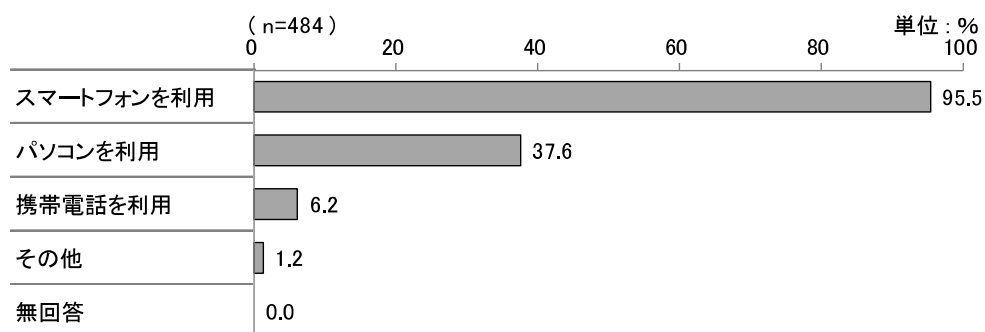
## (2-1) インターネットの利用方法

### ◆ 「スマートフォンを利用」が9割台半ば

(問9で選択肢「1」を選んだ方のみお答えください)

問9-1 どのような方法でインターネットを利用していますか（○はいくつでも）。

図表IV-4-3 インターネットの利用方法



インターネットの利用方法は、「スマートフォンを利用」(95.5%)が9割台半ばと最も高く、次いで「パソコンを利用」(37.6%)、「携帯電話を利用」(6.2%)と続いている。(図表IV-4-3)

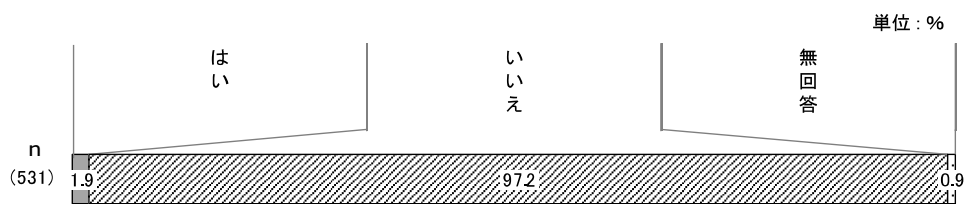
## 5. IT

### (1) 「葛飾区総合アプリ」の利用状況

#### ◆ 「はい」が1割未満

問10 葛飾区では、平成29年1月から「葛飾区総合アプリ」として、観光情報や防災情報、ごみ分別、電子母子手帳機能、ARを使った街歩きアプリ等を提供しております。「葛飾区総合アプリ」を使ったことがありますか（○は1つ）。

図表IV-5-1 「葛飾区総合アプリ」の利用状況



「葛飾区総合アプリ」の利用状況は、「いいえ」(97.2%)が10割近くとなっており、「はい」(1.9%)は1割未満となっている。(図表IV-5-1)

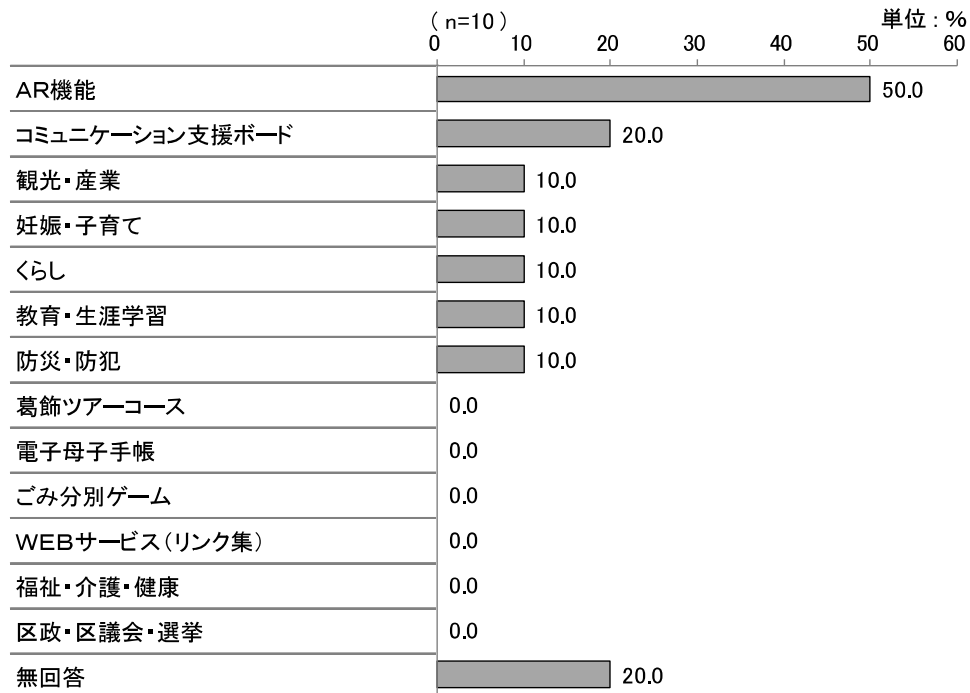
## (1-1) 「葛飾区総合アプリ」のよく利用する機能

### ◆ 「AR機能」が最多

(問10で選択肢「1」を選んだ方のみお答えください)

問10-1 「葛飾区総合アプリ」でよく使う機能は何ですか(〇はいくつでも)。

図表IV-5-2 「葛飾区総合アプリ」のよく利用する機能



「葛飾区総合アプリ」でよく使う機能は、「AR機能」(50.0%)が5割と最も高く、次いで「コミュニケーション支援ボード」(20.0%)、「観光・産業」(10.0%)、「妊娠・子育て」(10.0%)、「暮らし」(10.0%)、「教育・生涯学習」(10.0%)、「防災・防犯」(10.0%)と続いている。

なお、「葛飾区総合アプリ」に追加してほしい機能については、具体的な回答は得られなかった。(図表IV-5-2)

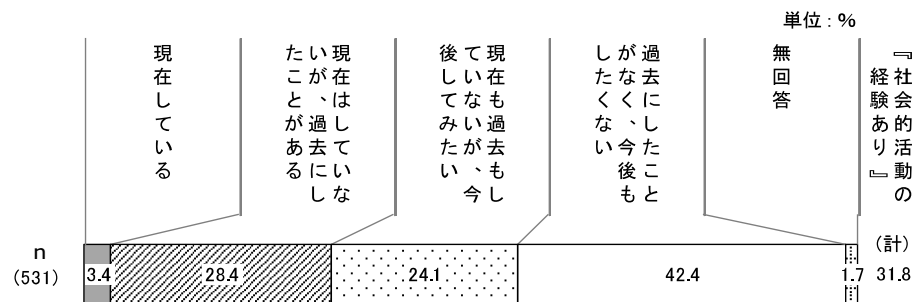
## 6. 社会参加活動

### (1) 社会的活動への参加

#### ◆ 『社会的活動の経験あり』が3割強

問11 あなたは現在、職業以外の社会的活動（NPO・ボランティア活動・区政参加等）をしていますか（○は1つ）。

図表IV-6-1 社会的活動への参加



社会的活動への参加は、「現在している」(3.4%)と「現在はしていないが、過去にしたことがある」(28.4%)を合わせた『社会的活動の経験あり』(31.8%)が3割強となっている。また、「現在も過去もしていないが、今後してみたい」(24.1%)は2割台半ばとなっている。

一方、「過去にしたことがなく、今後もしたくない」(42.4%)は、4割強となっている。(図表IV-6-1)

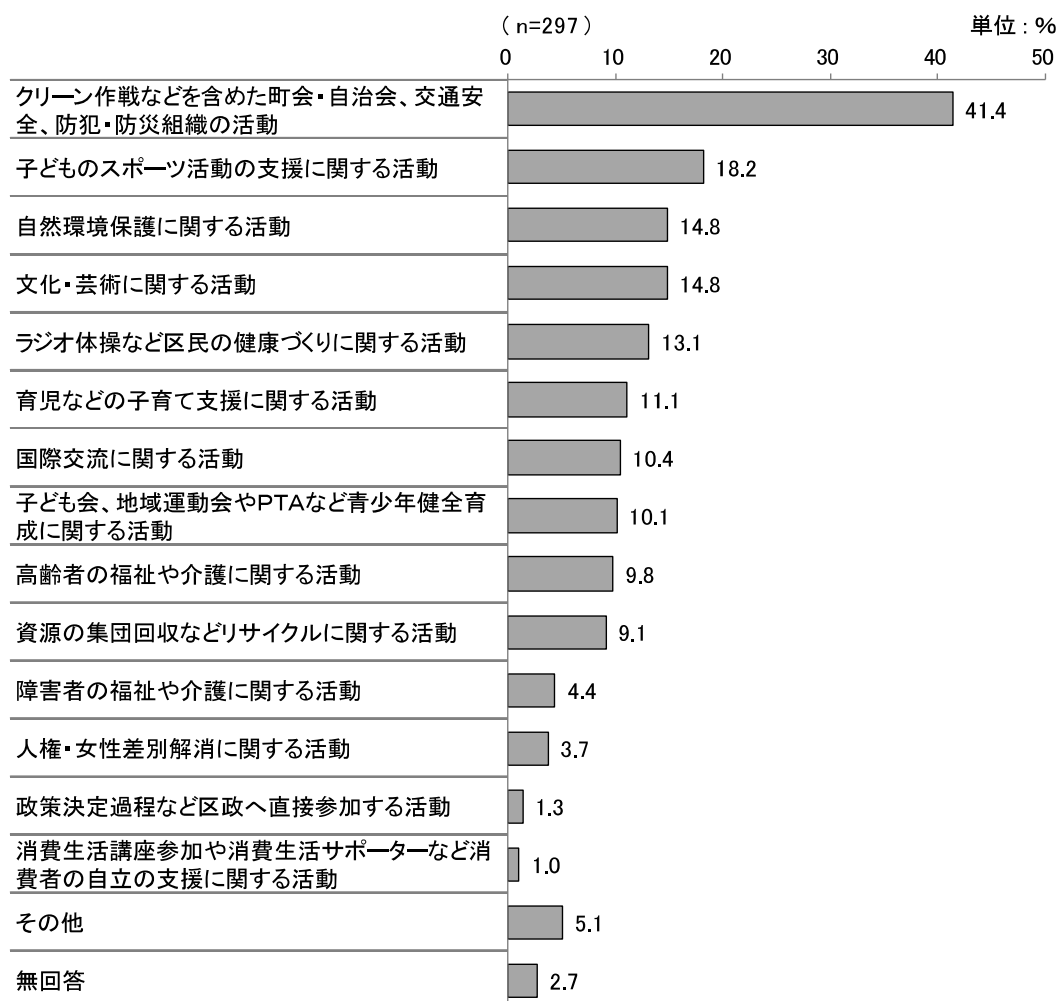
(1-1) 現在参加している・参加してみたい社会的活動

◆ 「クリーン作戦などを含めた町会・自治会、交通安全、防犯・防災組織の活動」が4割強

(問11で選択肢「1」から「3」を選んだ方のみお答えください)

問11-1 あなたが現在参加している、または、参加をしてみたい社会的活動はどのような分野の活動ですか(〇はいくつでも)。

図表IV-6-2 現在参加している・参加してみたい社会的活動



現在参加している・参加してみたい社会的活動は、「クリーン作戦などを含めた町会・自治会、交通安全、防犯・防災組織の活動」(41.4%)が4割強と最も高く、次いで「子どものスポーツ活動の支援に関する活動」(18.2%)、「自然環境保護に関する活動」(14.8%)、「文化・芸術に関する活動」(14.8%)と続いている。(図表IV-6-2)

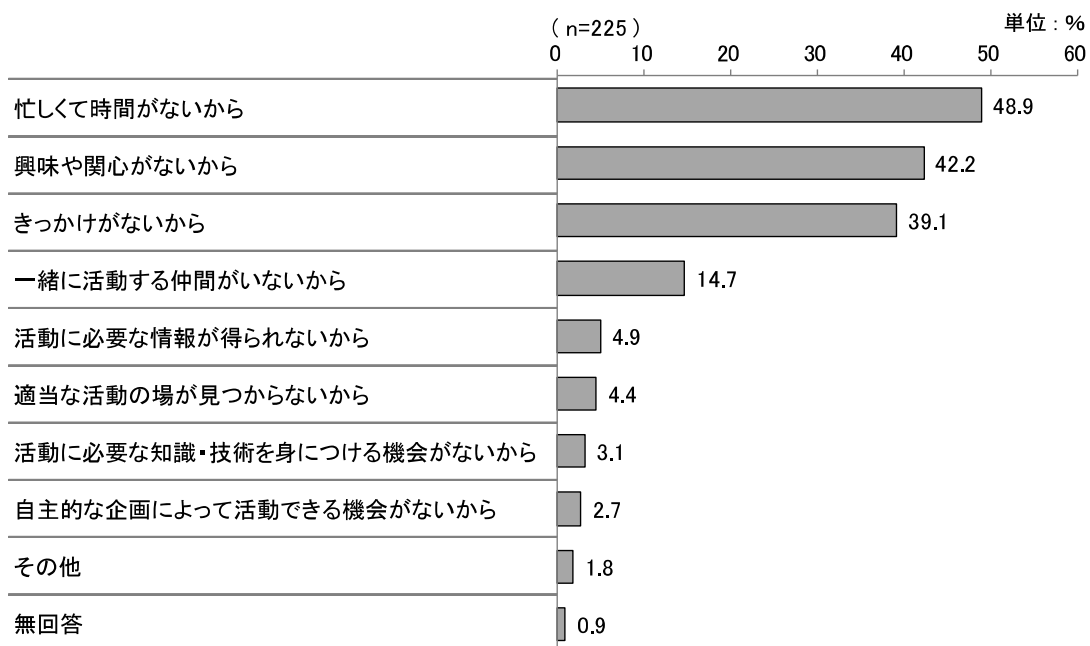
## (1-2) 社会的活動をしたくない理由

### ◆ 「忙しくて時間がないから」が5割近く

(問11で選択肢「4」を選んだ方のみお答えください)

問11-2 職業以外の社会的活動をしたくない主な理由は何ですか(〇は3つまで)。

図表IV-6-3 社会的活動をしたくない理由



社会的活動をしたくない理由は、「忙しくて時間がないから」(48.9%)が5割近くと最も高く、次いで「興味や関心がないから」(42.2%)、「きっかけがないから」(39.1%)と続いている。(図表IV-6-3)



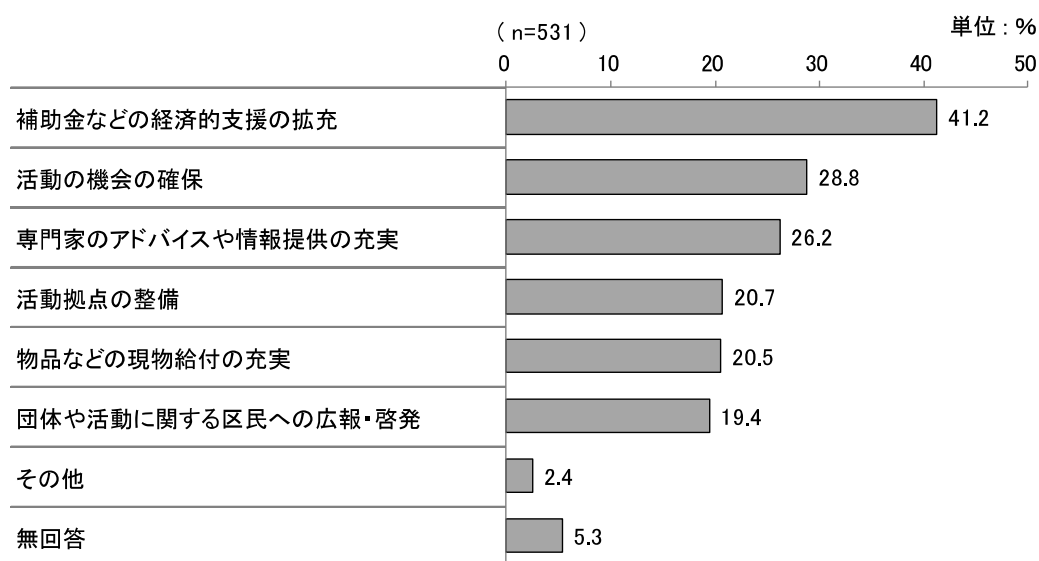
## 7. 地域貢献活動に対する支援

### (1) 地域貢献活動に対する支援

#### ◆ 「補助金などの経済的支援の拡充」が4割強

問12 自治町会や地域ボランティア団体等の活動を促進するために、行政が支援すべきことは何だと思えますか（〇はいくつでも）。

図表IV-7-1 地域貢献活動に対する支援



地域貢献活動に対する支援は、「補助金などの経済的支援の拡充」（41.2%）が4割強と最も高く、次いで「活動の機会の確保」（28.8%）、「専門家のアドバイスや情報提供の充実」（26.2%）と続いている。（図表IV-7-1）

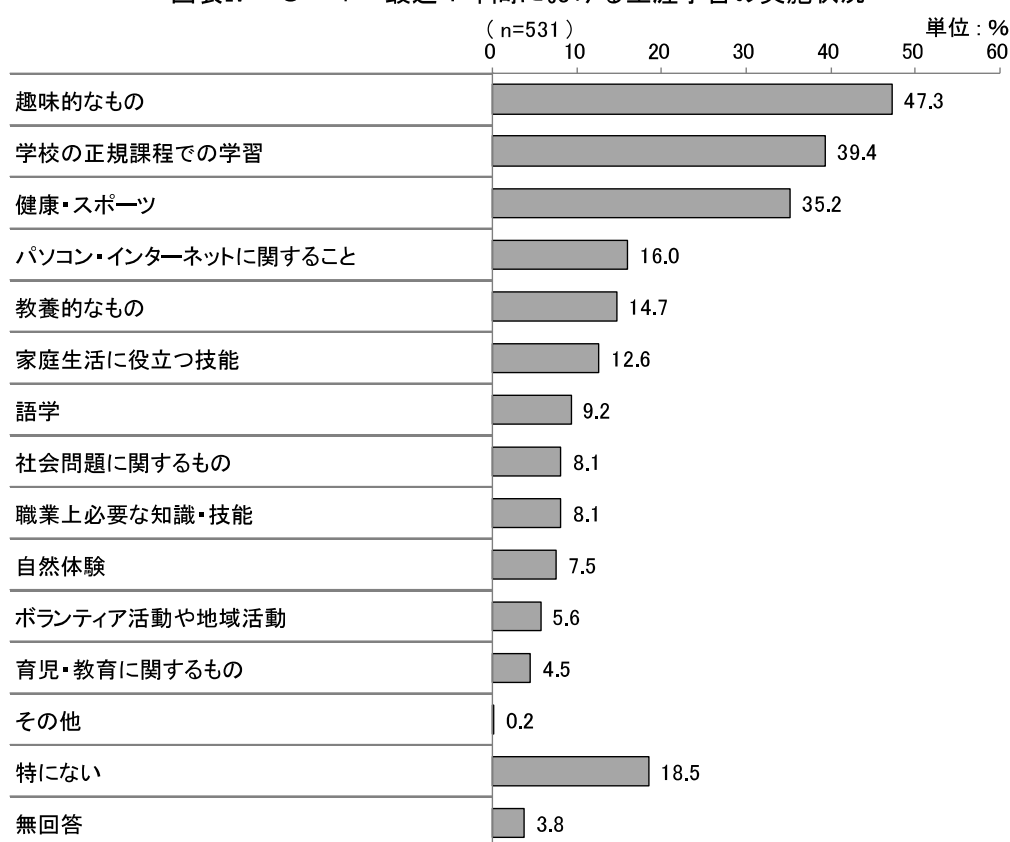
## 8. 生涯学習

### (1) 最近1年間における生涯学習の実施状況

#### ◆ 「趣味的なもの」が5割近く

問13 「生涯学習」とは、学校教育や社会教育、自宅などで行う学習活動を含めて、自分から進んで行う学習・文化活動、スポーツ、ボランティア活動、趣味などのさまざまな学習活動のことをいいます。あなたは、この1年くらいの間に、このような「生涯学習」をしたことがありますか（○はいくつでも）。

図表IV-8-1 最近1年間における生涯学習の実施状況



最近1年間における生涯学習の実施状況は、「趣味的なもの」(47.3%)が5割近くと最も高く、次いで「学校の正規過程での学習」(39.4%)、「健康・スポーツ」(35.2%)と続いている。

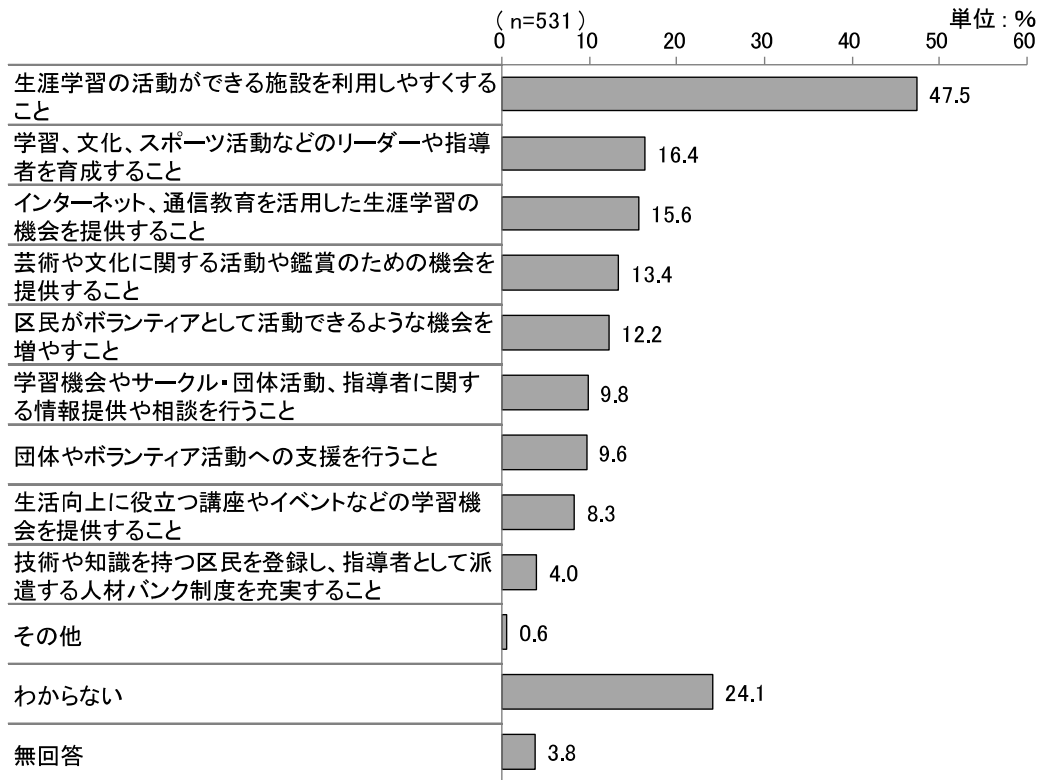
なお、「特にない」(18.5%)は2割近くとなっている。(図表IV-8-1)

## (2) 生涯学習を充実していくために重要なこと

### ◆ 「生涯学習の活動ができる施設を利用しやすくすること」が5割近く

問 14 生涯学習を充実していくために、どのようなことが重要だと思いますか（〇はいくつでも）。

図表Ⅳ－8－2 生涯学習を充実していくために重要なこと



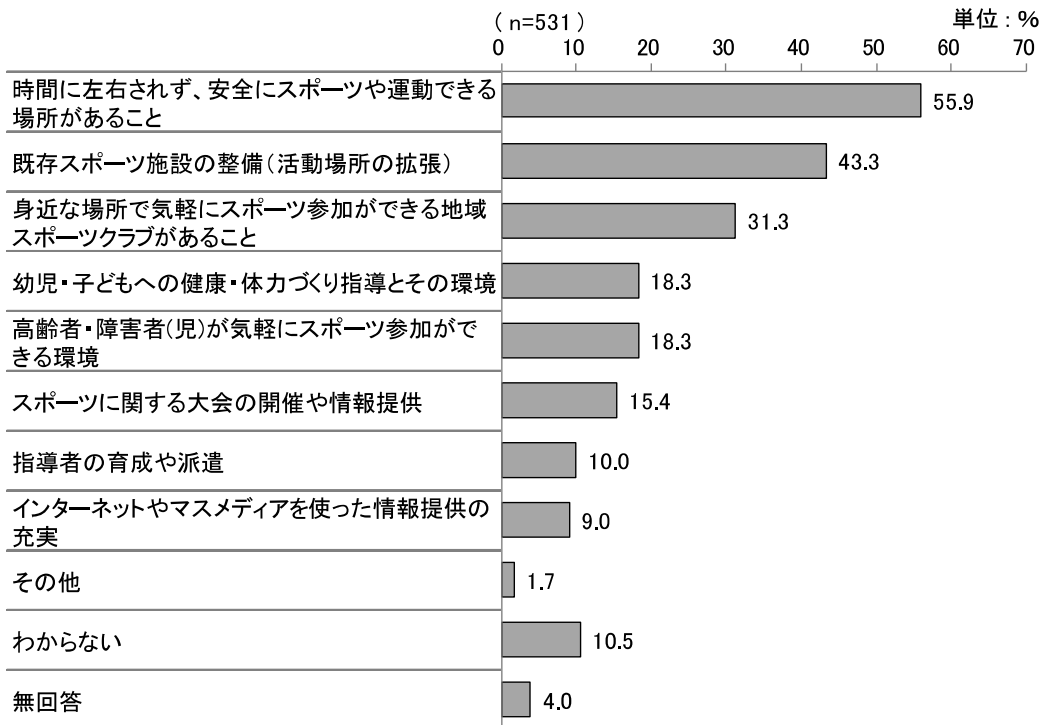
生涯学習を充実していくために重要なことは、「生涯学習の活動ができる施設を利用しやすくすること」(47.5%)が5割近くと最も高く、次いで「学習、文化、スポーツ活動などのリーダーや指導者を育成すること」(16.4%)、「インターネット、通信教育を活用した生涯学習の機会を提供すること」(15.6%)と続いている。(図表Ⅳ－8－2)

### (3) 誰もがスポーツを楽しむために重要なこと

#### ◆ 「時間に左右されず、安全にスポーツや運動できる場所があること」が5割台半ば

問 15 誰もがスポーツを楽しむために、どのようなことが重要だと思いますか（〇はいくつでも）。

図表Ⅳ－８－３ 誰もがスポーツを楽しむために重要なこと



誰もがスポーツを楽しむために重要なことは、「時間に左右されず、安全にスポーツや運動できる場所があること」(55.9%)が5割台半ばと最も高く、次いで「既存スポーツ施設の整備(活動場所の拡張)」(43.3%)、「身近な場所で気軽にスポーツ参加ができる地域スポーツクラブがあること」(31.3%)と続いている。(図表Ⅳ－８－３)

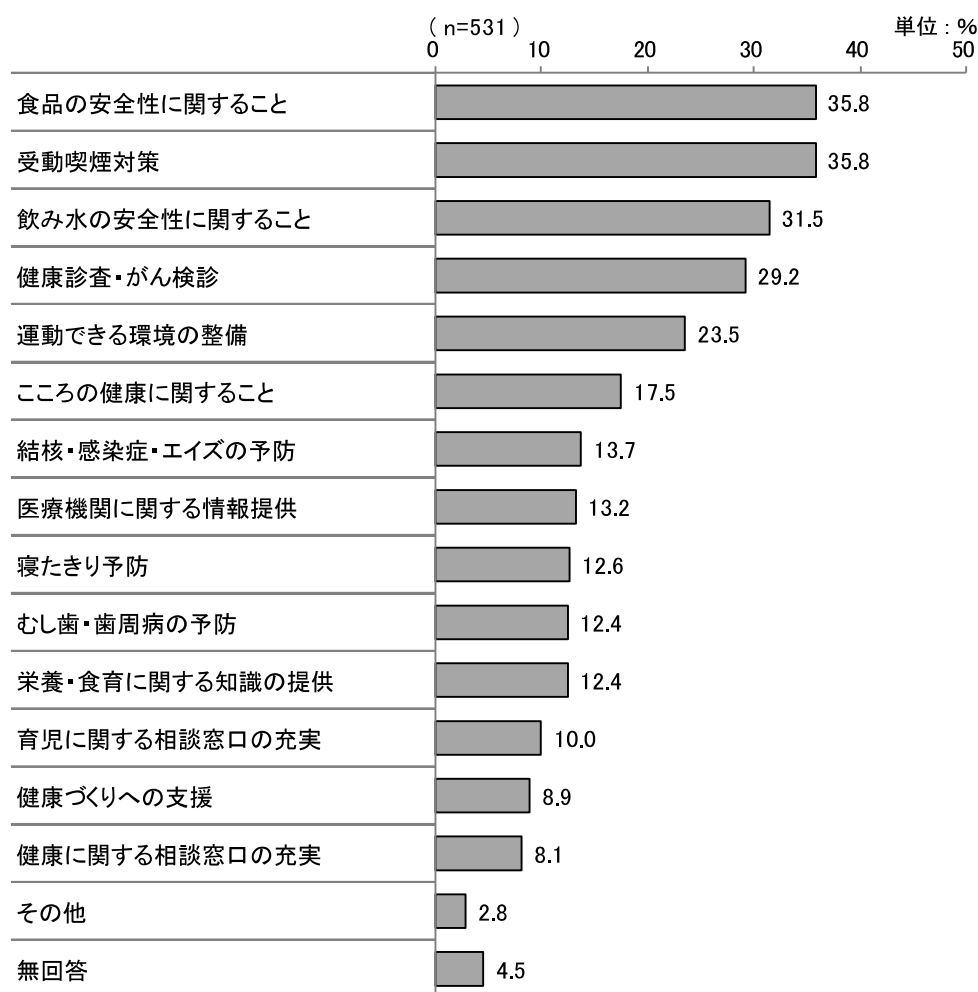
## 9. 健康

### (1) 健康な生活を送るために力を入れてほしいこと

#### ◆ 「食品の安全性に関すること」と「受動喫煙対策」が3割台半ば

問16 あなたがより健康な生活を送るために、葛飾区にはどのようなことに力を入れてほしいですか（〇はいくつでも）。

図表Ⅳ－9－1 健康な生活を送るために力を入れてほしいこと

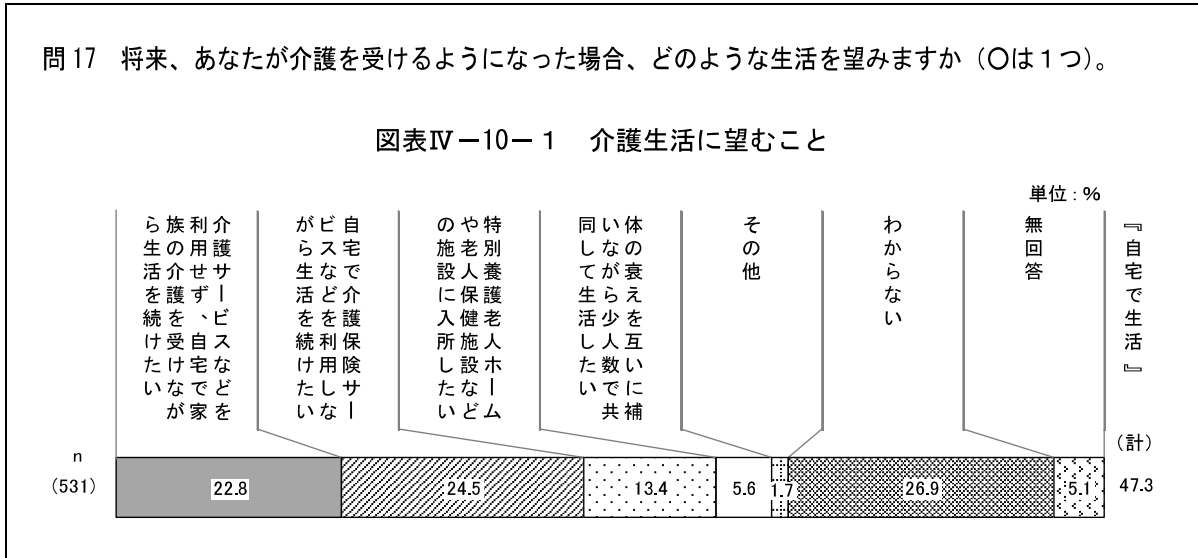


健康な生活を送るために力を入れてほしいことは、「食品の安全性に関すること」(35.8%)と「受動喫煙対策」(35.8%)が同率で3割台半ばと最も高く、次いで「飲み水の安全性に関すること」(31.5%)、「健康診査・がん検診」(29.2%)と続いている。(図表Ⅳ－9－1)

# 10. 高齢者支援

## (1) 介護生活に望むこと

### ◆ 『自宅で生活』が5割近く



介護生活に望むことは、「自宅で介護保険サービスなどを利用しながら生活を続けたい」(24.5%)が最も高くなっている。また、これに「介護サービスなどを利用せず、自宅で家族の介護を受けながら生活を続けたい」(22.8%)を合わせた『自宅で生活』(47.3%)が5割近くとなっている。(図表IV-10-1)

## 11. 障害者支援

### (1) 障害者が安心して暮らすために重要なこと

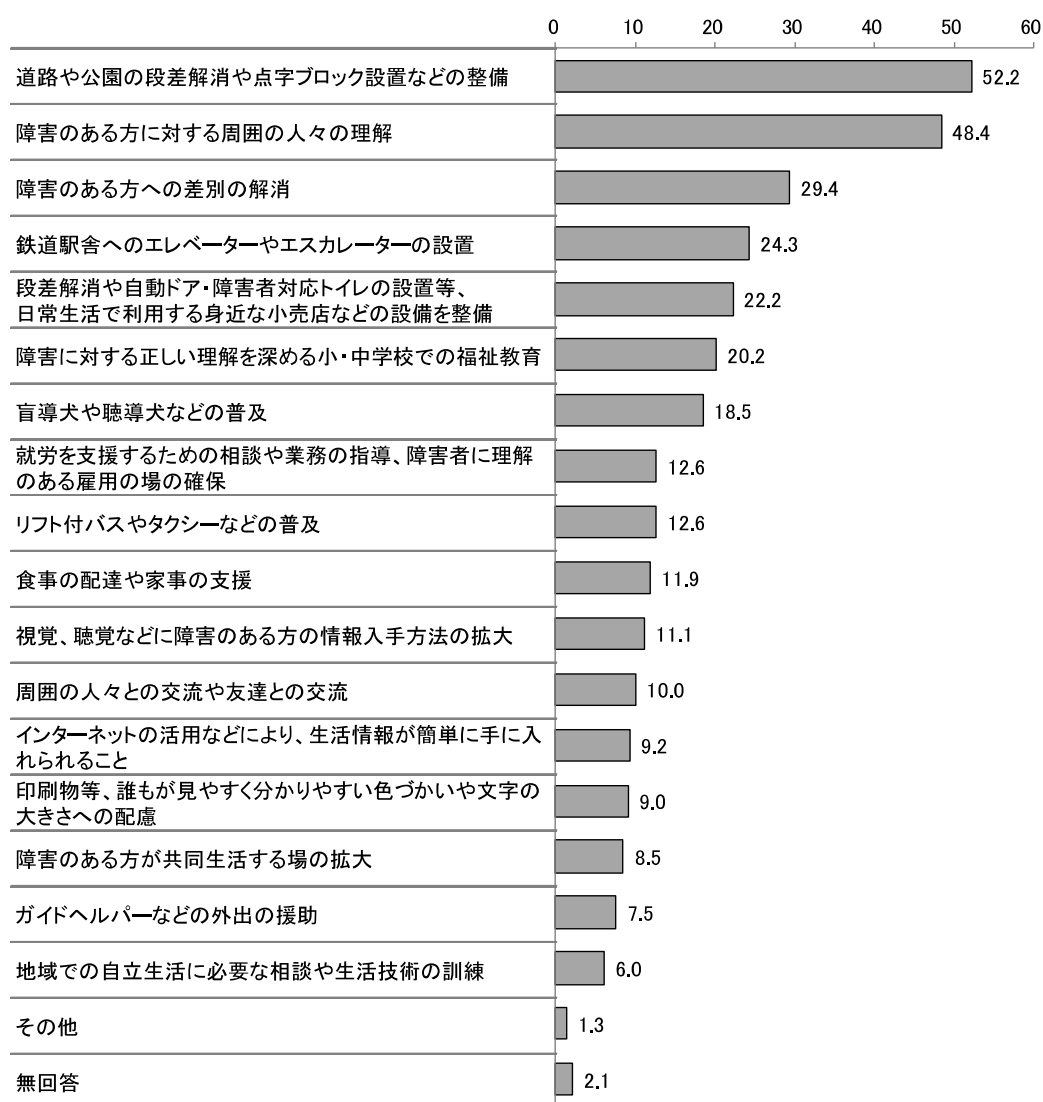
#### ◆ 「道路や公園の段差解消や点字ブロック設置などの整備」が5割強

問 18 障害がある方など誰もが安心して暮らせるためには、何が重要だと思いますか（〇は5つまで）。

図表Ⅳ-11-1 障害者が安心して暮らすために重要なこと

(n=531)

単位：%



障害者が安心して暮らすために重要なことは、「道路や公園の段差解消や点字ブロック設置などの整備」(52.2%)が5割強と最も高く、次いで「障害のある方に対する周囲の人々の理解」(48.4%)、「障害のある方への差別の解消」(29.4%)と続いている。(図表Ⅳ-11-1)

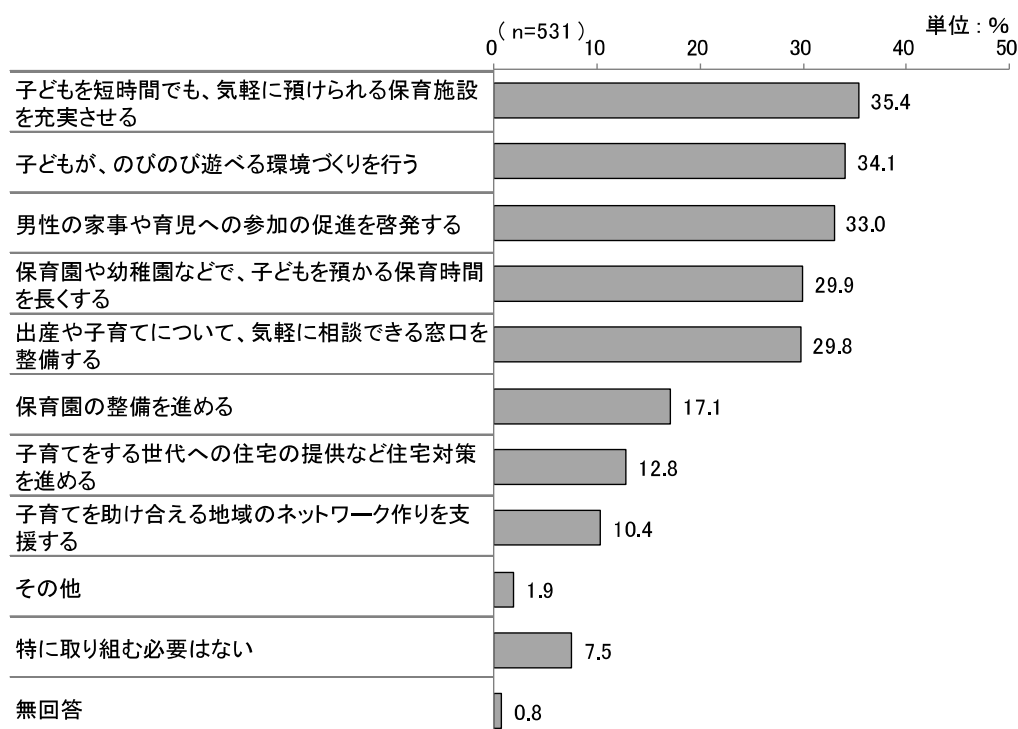
## 12. 子育て

### (1) 少子化対策における必要な施策

#### ◆ 「子どもを短時間でも、気軽に預けられる保育施設を充実させる」が3割台半ば

問19 少子化社会の中で、葛飾区はどのような施策を進めていく必要があると思いますか（〇は3つまで）。

図表IV-12-1 少子化対策における必要な施策



少子化対策における必要な施策は、「子どもを短時間でも、気軽に預けられる保育施設を充実させる」(35.4%)が3割台半ばと最も高く、次いで「子どもが、のびのび遊べる環境づくりを行う」(34.1%)、「男性の家事や育児への参加の促進を啓発する」(33.0%)と続いている。(図表IV-12-1)

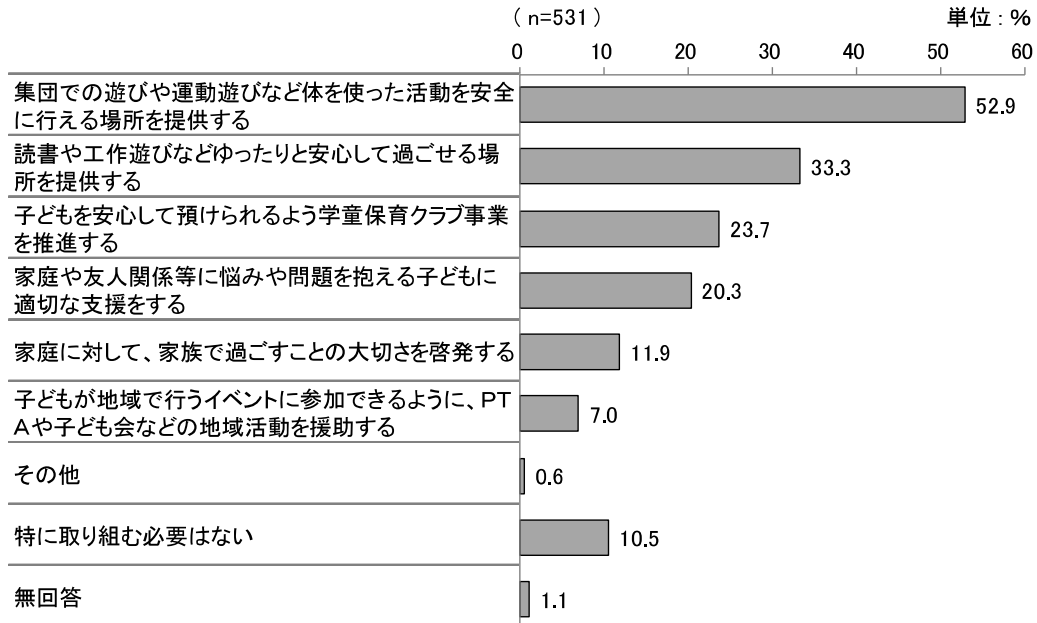


## (2) 子どもたちの放課後等の過ごし方に必要な施策

### ◆ 「集団での遊びや運動遊びなど体を使った活動を安全に行える場所を提供する」が5割強

問 20 子どもたちの放課後等の過ごし方について、葛飾区はどのような施策を進めていく必要があると思いますか（〇は2つまで）。

図表IV-12-2 子どもたちの放課後等の過ごし方に必要な施策



子どもたちの放課後等の過ごし方に必要な施策は、「集団での遊びや運動遊びなど体を使った活動を安全に行える場所を提供する」(52.9%)が5割強と最も高く、次いで「読書や工作遊びなどゆったりと安心して過ごせる場所を提供する」(33.3%)、「子どもを安心して預けられるよう学童保育クラブ事業を推進する」(23.7%)と続いている。(図表IV-12-2)

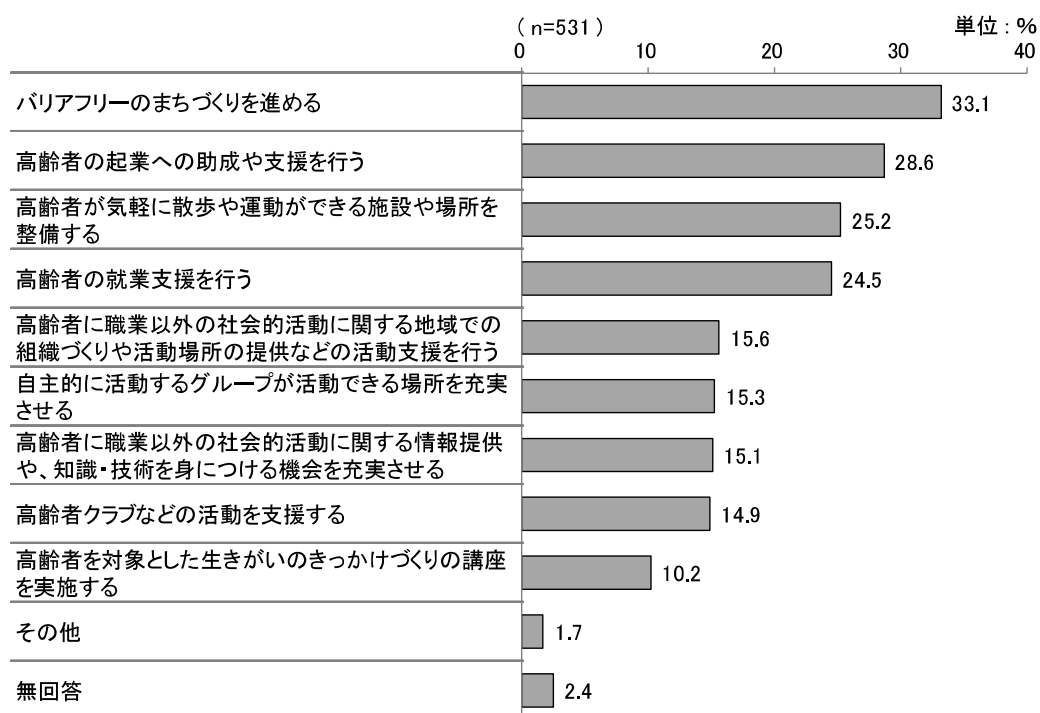
## 13. 高齢社会への対応

### (1) 高齢社会の社会参加を促すために必要な施策

#### ◆ 「バリアフリーのまちづくりを進める」が3割強

問 21 高齢社会の中で葛飾区は社会参加を促すため、どのような施策を進めていく必要があると思いますか（〇は3つまで）。

図表IV-13-1 高齢社会の社会参加を促すために必要な施策



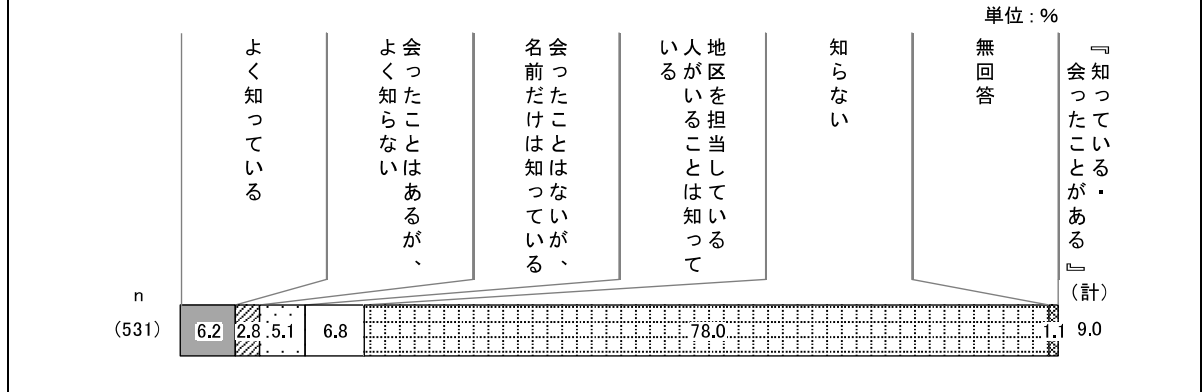
高齢社会の社会参加を促すために必要な施策は、「バリアフリーのまちづくりを進める」(33.1%)が3割強と最も高く、次いで「高齢者の起業への助成や支援を行う」(28.6%)、「高齢者が気軽に散歩や運動ができる施設や場所を整備する」(25.2%)と続いている。(図表IV-13-1)

## (2) 民生委員・児童委員の認知度

### ◆ 『知っている・会ったことがある』が1割未満

問 22 生活上の身近な相談相手として、あなたの地区を担当する民生委員・児童委員がいることを知っていますか（○は1つ）。

図表IV-13-2 民生委員・児童委員の認知度

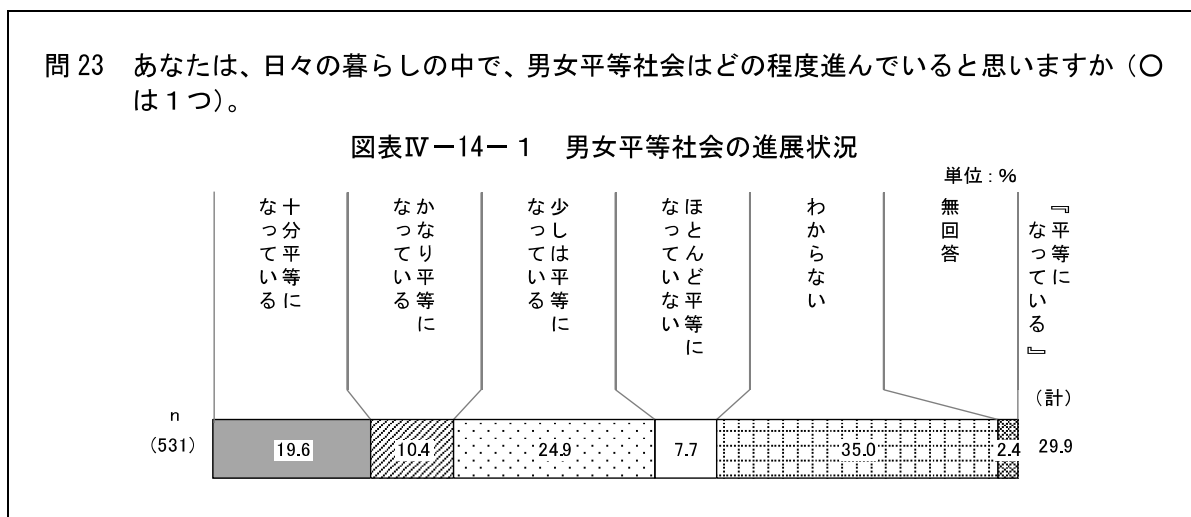


民生委員・児童委員の認知度は、「よく知っている」(6.2%)と「会ったことはあるが、よく知らない」(2.8%)を合わせた『知っている・会ったことがある』(9.0%)が、1割未満となっている。一方、「知らない」(78.0%)は8割近くとなっている。(図表IV-13-2)

## 14. 男女平等社会の実現

### (1) 男女平等社会の進展状況

#### ◆ 『平等になっている』が3割弱

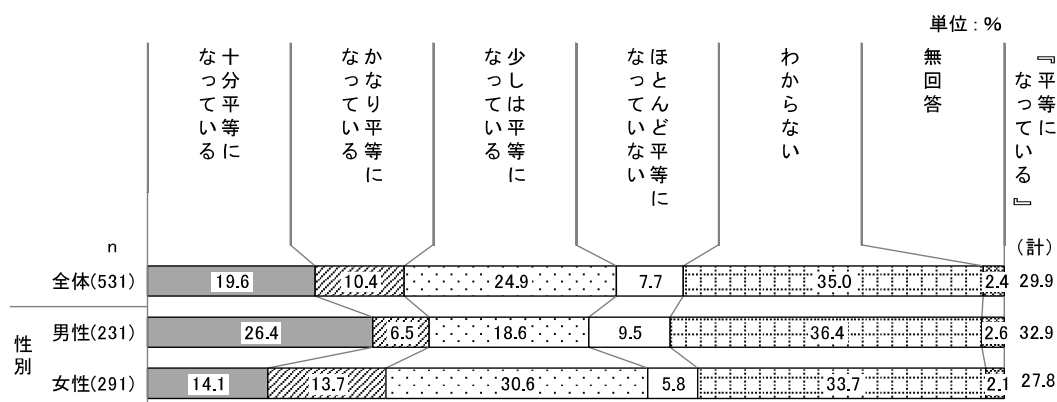


男女平等社会の進展状況は、「少しは平等になっている」(24.9%)が2割台半ばと最も高く、次いで「十分に平等になっている」(19.6%)、「かなり平等になっている」(10.4%)と続いている。

また、「十分に平等になっている」(19.6%)と「かなり平等になっている」(10.4%)を合わせた『平等になっている』(29.9%)は3割弱となっている。(図表IV-14-1)

#### 【性別】

図表IV-14-2 男女平等社会の進展状況（性別）



性別で見ると、「十分に平等になっている」は、「男性」(26.4%)が「女性」(14.1%)より12.3ポイント高くなっている。

一方、「少しは平等になっている」は、「女性」(30.6%)が「男性」(18.6%)より12.0ポイント高くなっている。(図表IV-14-2)

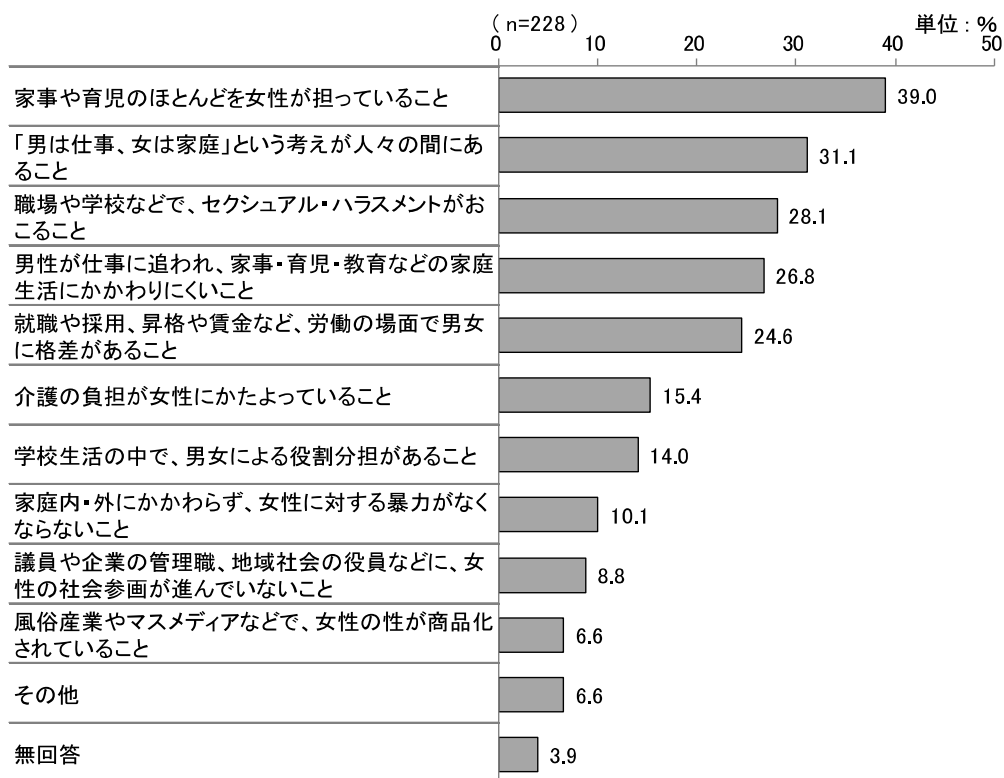
## (1-1) 男女の不平等を感じる点

### ◆ 「家事や育児のほとんどを女性が担っていること」が4割弱

(問23で選択肢「2」から「4」を選んだ方のみお答えください)

問23-1 具体的にどのような点で男女の不平等を感じますか(〇は3つまで)。

図表IV-14-3 男女の不平等を感じる点



男女の不平等を感じる点は、「家事や育児のほとんどを女性が担っていること」(39.0%)が4割弱と最も高く、次いで「『男は仕事、女は家庭』という考えが人々の間にあること」(31.1%)、「職場や学校などで、セクシュアル・ハラスメントがおこること」(28.1%)と続いている。(図表IV-14-3)

## 15. 産業

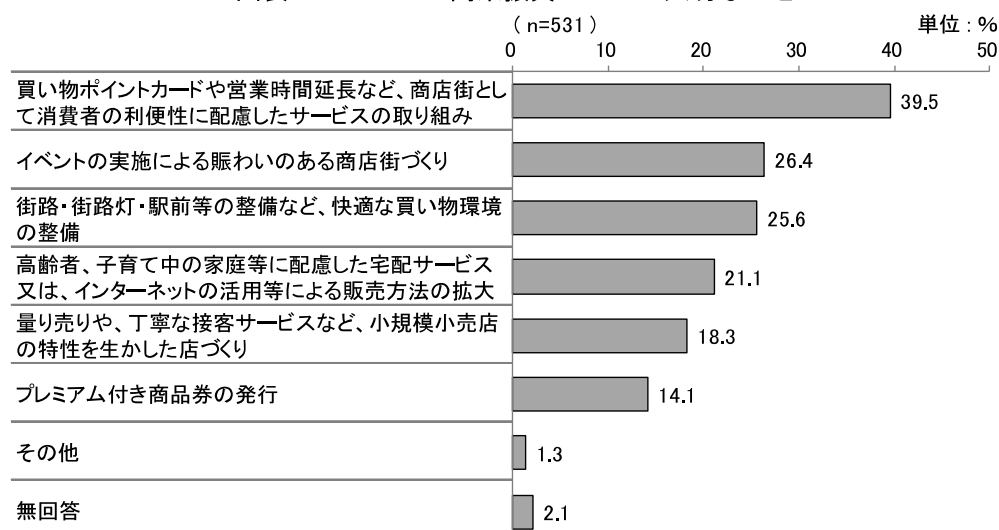
### (1) 商業振興について大切なこと

#### ◆ 「買い物ポイントカードや営業時間延長など、商店街として消費者の利便性に配慮したサービスの取り組み」が4割弱

問 24 葛飾区では商業、工業、伝統産業、農業など様々な産業が営まれています。あなたは、これら産業の振興についてどれが大切だと思いますか。

(1) 商業振興について (○は2つまで)

図表IV-15-1 商業振興について大切なこと



商業振興について大切なことは、「買い物ポイントカードや営業時間延長など、商店街として消費者の利便性に配慮したサービスの取り組み」(39.5%)が4割弱と最も高く、次いで「イベントの実施による賑わいのある商店街づくり」(26.4%)、「街路・街路灯・駅前等の整備など、快適な買い物環境の整備」(25.6%)と続いている。(図表IV-15-1)

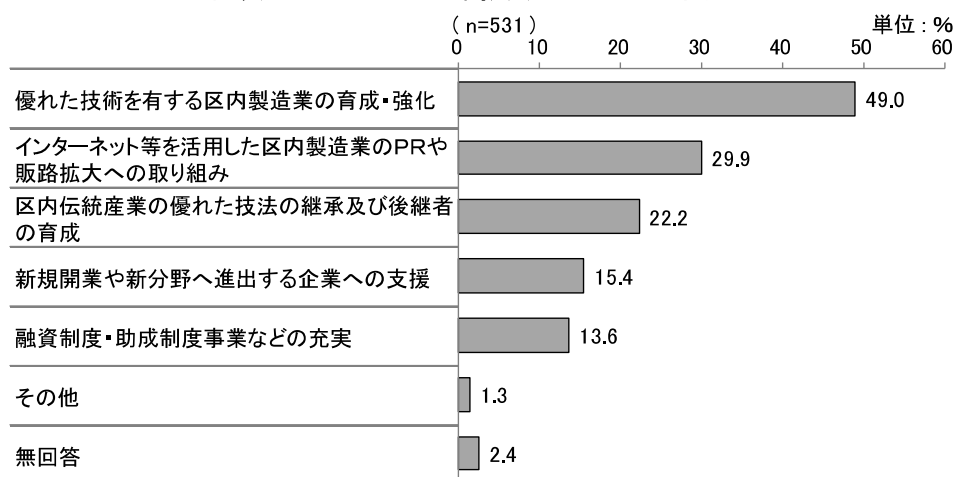
## (2) 工業振興について大切なこと

### ◆ 「優れた技術を有する区内製造業の育成・強化」が5割弱

問 24 葛飾区では商業、工業、伝統産業、農業など様々な産業が営まれています。あなたは、これら産業の振興についてどれが大切だと思いますか。

(2) 工業振興について (○は2つまで)

図表IV-15-2 工業振興について大切なこと



工業振興について大切なことは、「優れた技術を有する区内製造業の育成・強化」(49.0%)が5割弱と最も高く、次いで「インターネット等を活用した区内製造業のPRや販路拡大への取り組み」(29.9%)、「区内伝統産業の優れた技法の継承及び後継者の育成」(22.2%)と続いている。(図表IV-15-2)

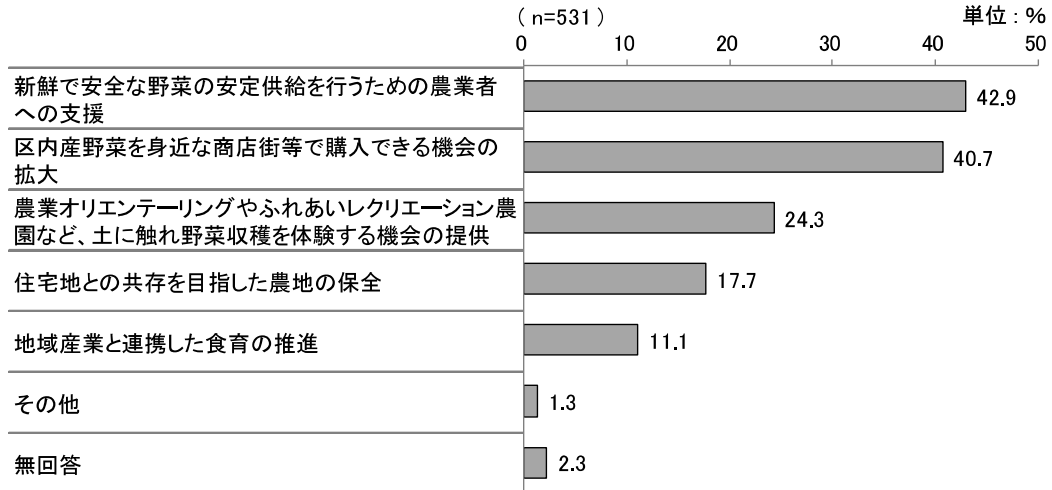
### (3) 農業振興について大切なこと

#### ◆ 「新鮮で安全な野菜の安定供給を行うための農業者への支援」が4割強

問 24 葛飾区では商業、工業、伝統産業、農業など様々な産業が営まれています。あなたは、これら産業の振興についてどれが大切だと思いますか。

(3) 農業振興について (○は2つまで)

図表Ⅳ-15-3 農業振興について大切なこと



農業振興について大切なことは、「新鮮で安全な野菜の安定供給を行うための農業者への支援」(42.9%)が4割強と最も高く、次いで「区内産野菜を身近な商店街等で購入できる機会の拡大」(40.7%)、「農業オリエンテーリングやふれあいレクリエーション農園など、土に触れ野菜収穫を体験する機会の提供」(24.3%)と続いている。(図表Ⅳ-15-3)



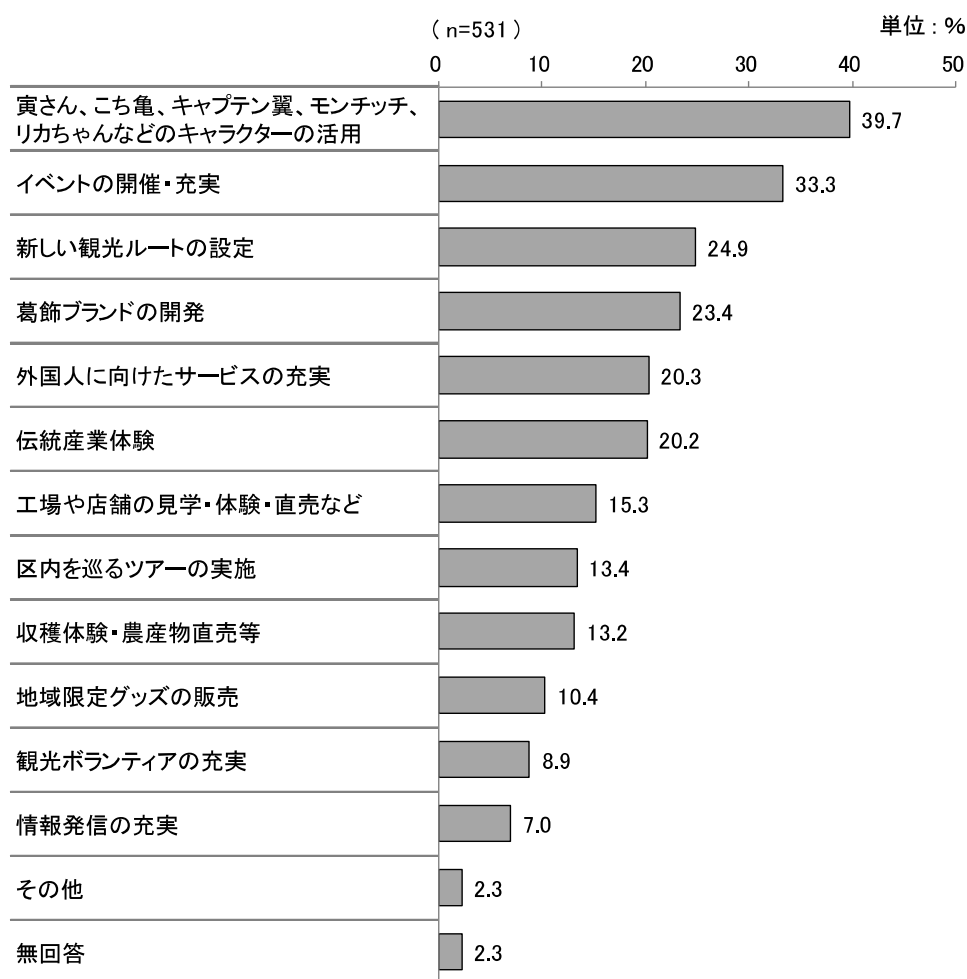
## 16. 観光

### (1) 葛飾区の観光客誘致における重要なこと

- ◆ 「寅さん、こち亀、キャプテン翼、モンチッチ、リカちゃんなどのキャラクターの活用」が4割弱

問 25 葛飾区ではまちの賑わいを創出するために、観光振興を進めています。葛飾区に観光客を誘致するために、あなたが特に重要と思うものは何ですか（〇はいくつでも）。

図表Ⅳ-16-1 葛飾区の観光客誘致における重要なこと



葛飾区の観光客誘致における重要なことは、「キャラクターの活用」(39.7%)が4割弱と最も高く、次いで「イベントの開催・充実」(33.3%)、「新しい観光ルートの設定」(24.9%)と続いている。(図表Ⅳ-16-1)

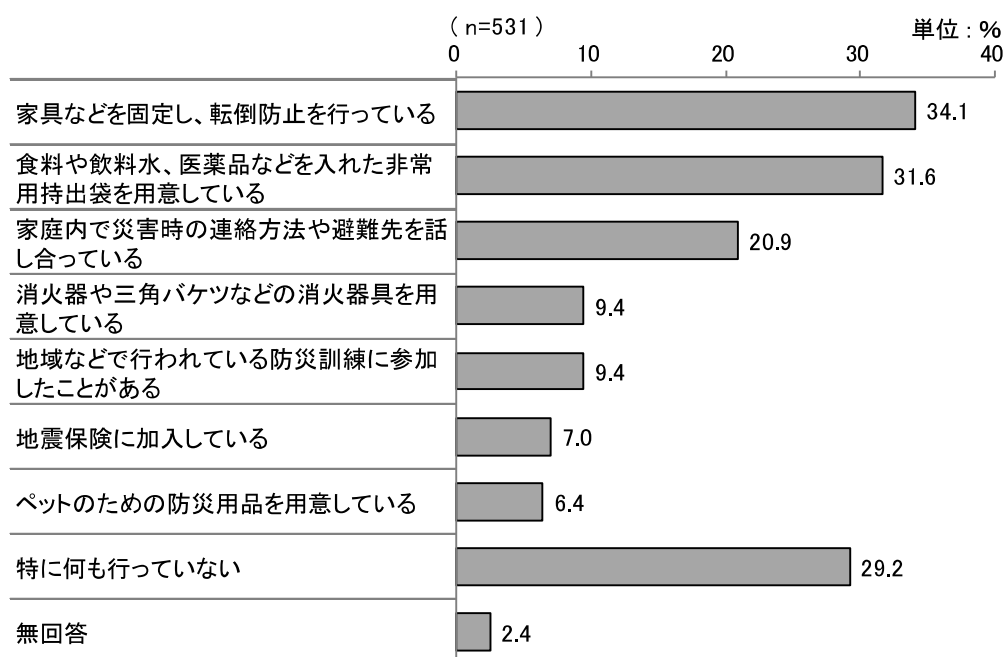
## 17. 防災

### (1) 日頃行っている防災対策

#### ◆ 「家具などを固定し、転倒防止を行っている」が3割台半ば

問 26 あなたが、日頃行っている防災対策や準備は何ですか（〇はいくつでも）。

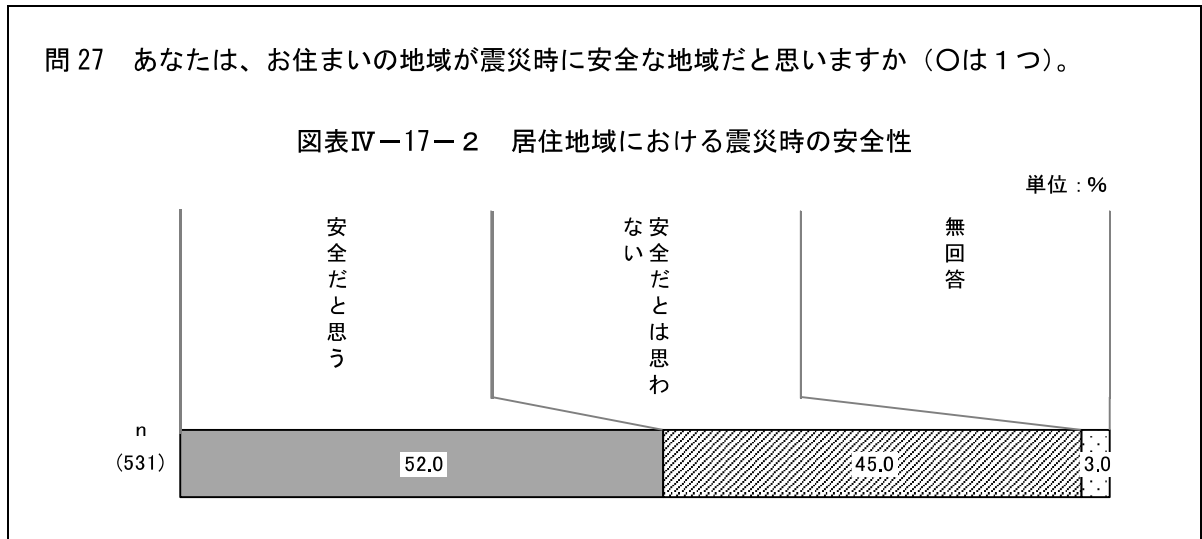
図表IV-17-1 日頃行っている防災対策



日頃行っている防災対策は、「家具などを固定し、転倒防止を行っている」(34.1%)が3割台半ばと最も高く、次いで「食料や飲料水、医薬品などを入れた非常用持出袋を用意している」(31.6%)、「家庭内で災害時の連絡方法や避難先を話し合っている」(20.9%)と続いている。(図表IV-17-1)

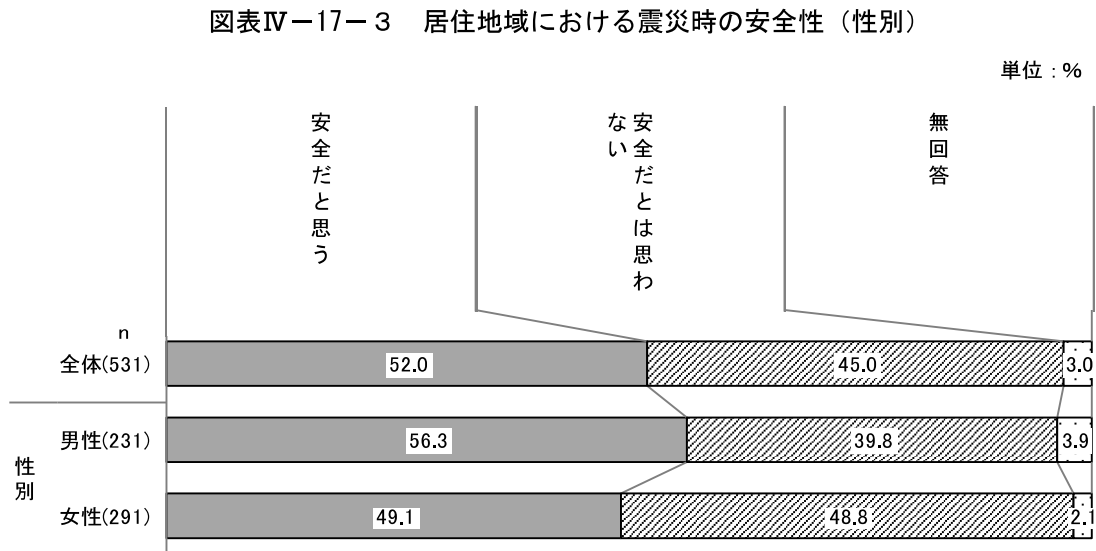
## (2) 居住地における震災時の安全性

### ◆ 「安全だとは思わない」が4割台半ば



居住地における震災時の安全性は、「安全だと思う」（52.0%）が5割強となっており、「安全だとは思わない」（45.0%）は4割台半ばとなっている。（図表Ⅳ-17-2）

### 【性別】



性別で見ると、「安全だと思う」は、「男性」（56.3%）が「女性」（49.1%）より7.2ポイント高くなっている。

一方、「安全だとは思わない」は、「女性」（48.8%）が「男性」（39.8%）より9.0ポイント高くなっている。（図表Ⅳ-17-3）

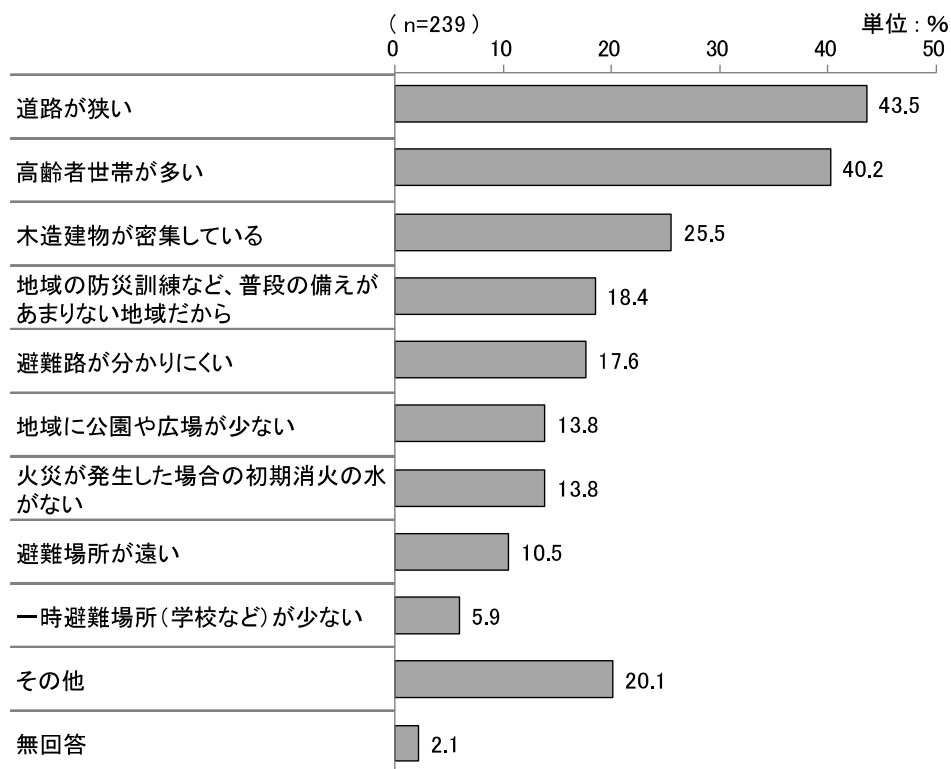
## (2-1) 居住地域が震災時に安全でないと思う理由

### ◆ 「道路が狭い」が4割強

(問27で選択肢「2」を選んだ方のみお答えください)

問27-1 安全でないと思う理由は何ですか(〇はいくつでも)。

図表IV-17-4 居住地域が震災時に安全でないと思う理由



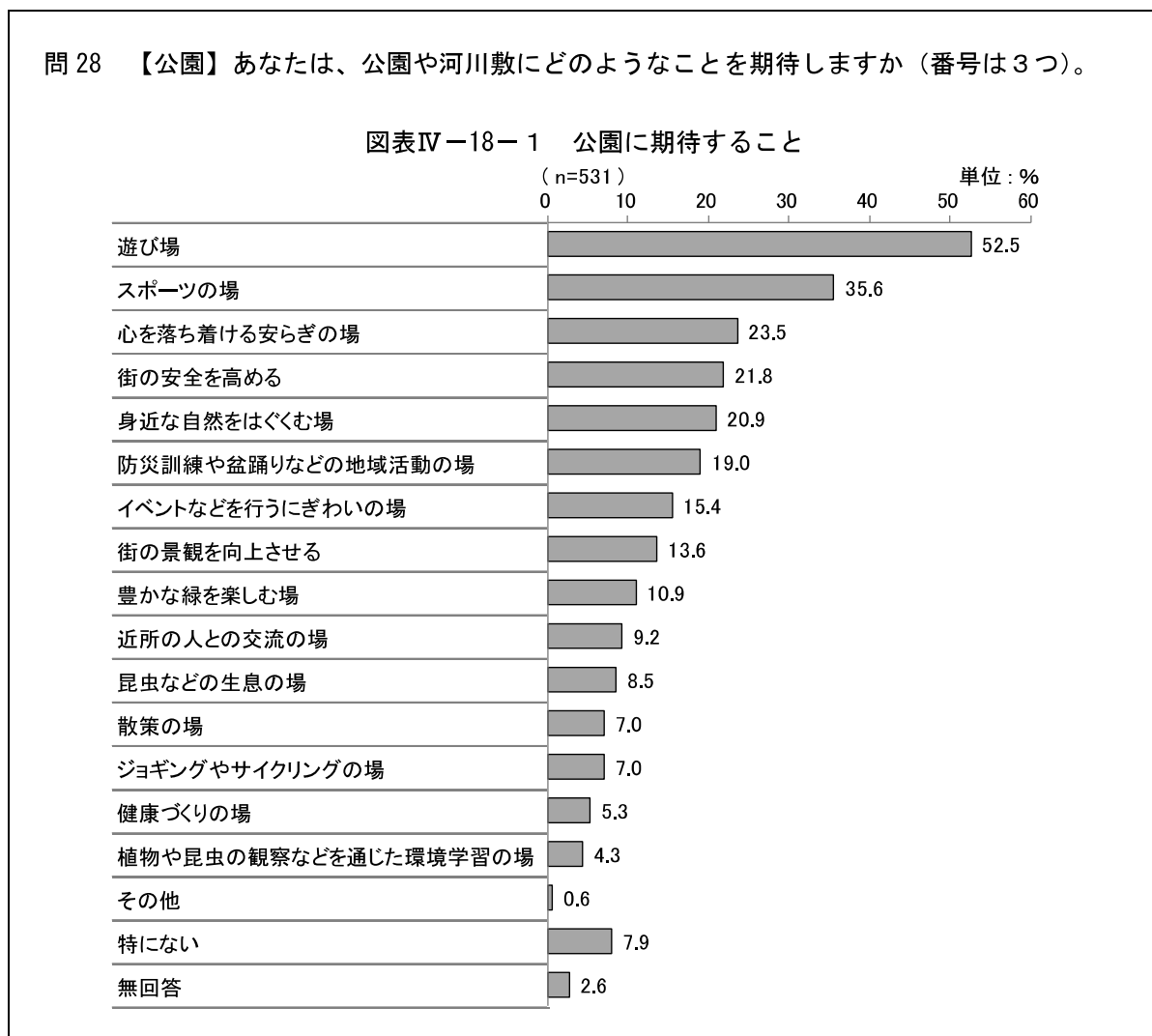
居住地域が震災時に安全でないと思う理由は、「道路が狭い」(43.5%)が4割強と最も高く、次いで「高齢者世帯が多い」(40.2%)、「木造建物が密集している」(25.5%)と続いている。(図表IV-17-4)

## 18. 公園・河川敷

### (1) 公園に期待すること

#### ◆ 「遊び場」が5割強

問 28 【公園】あなたは、公園や河川敷にどのようなことを期待しますか（番号は3つ）。

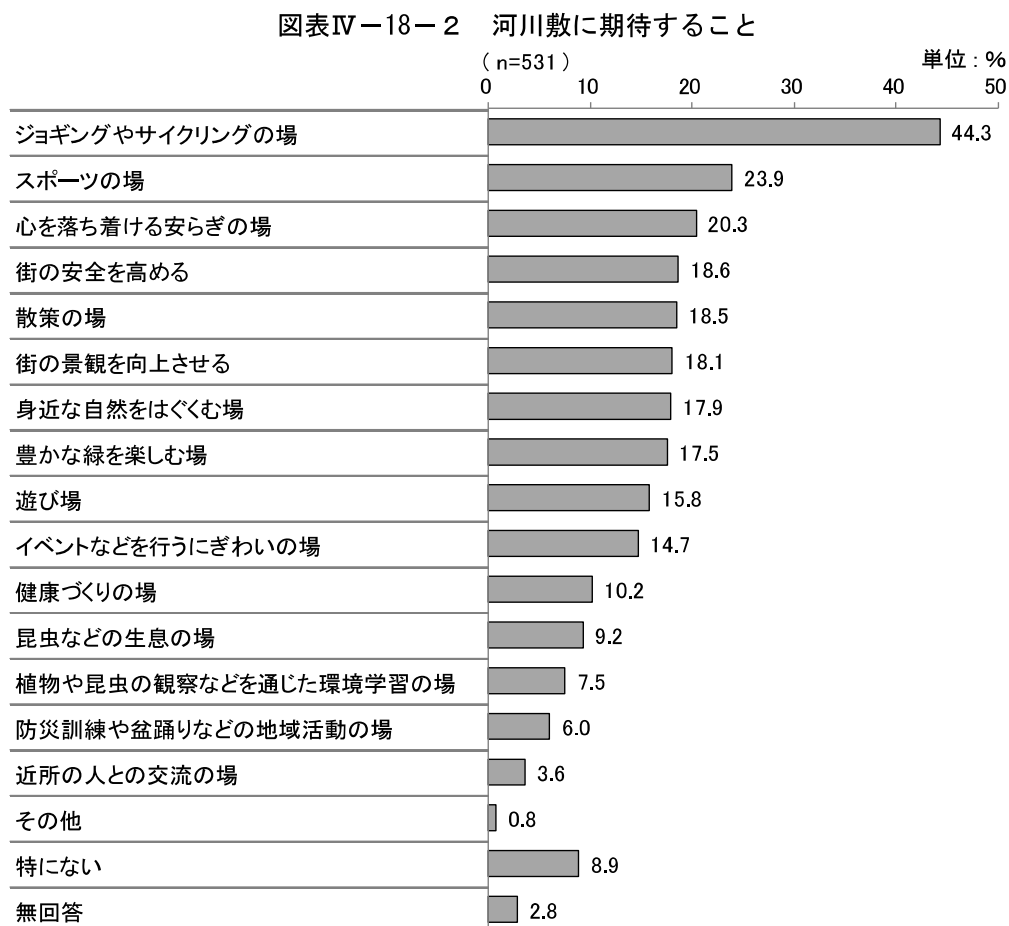


公園に期待することは、「遊び場」(52.5%)が5割強と最も高く、次いで「スポーツの場」(35.6%)、「心を落ち着ける安らぎの場」(23.5%)と続いている。(図表IV-18-1)

## (2) 河川敷に期待すること

### ◆ 「ジョギングやサイクリングの場」が4割台半ば

問 28 【河川敷】あなたは、公園や河川敷にどのようなことを期待しますか（番号は3つ）。



河川敷に期待することは、「ジョギングやサイクリングの場」(44.3%)が4割台半ばと最も高く、次いで「スポーツの場」(23.9%)、「心を落ち着ける安らぎの場」(20.3%)と続いている。(図IV-18-2)

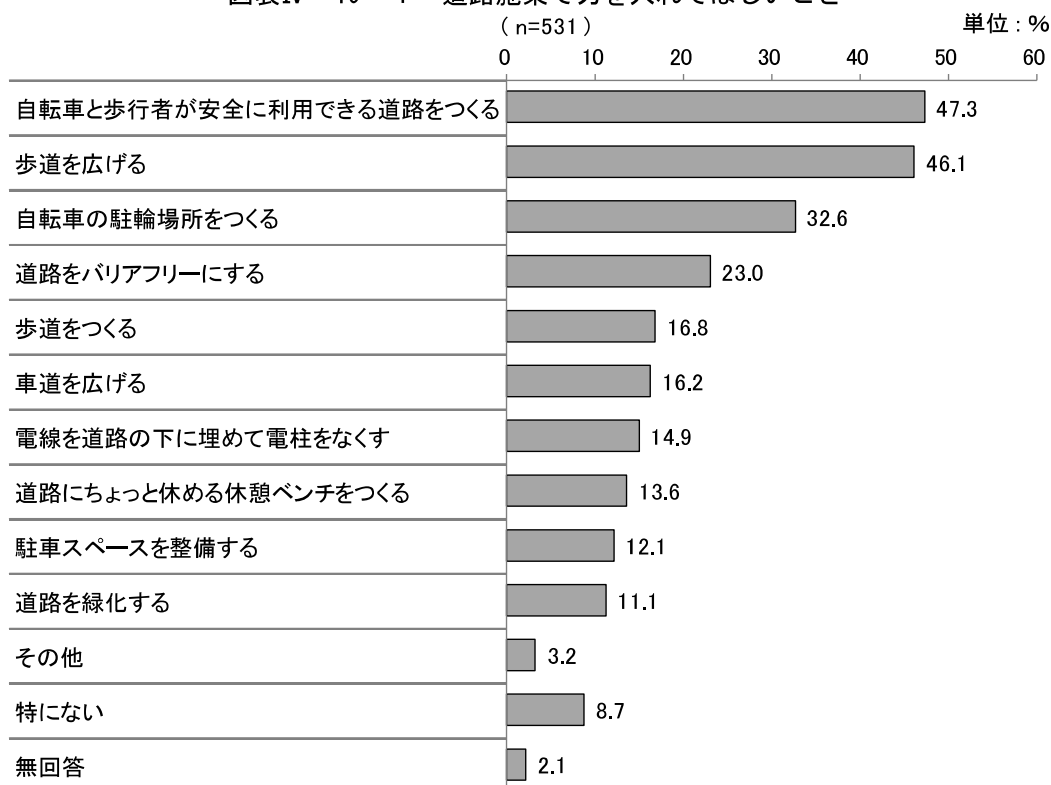
## 19. 道路

### (1) 道路施策で力を入れてほしいこと

#### ◆ 「自転車と歩行者が安全に利用できる道路をつくる」が5割近く

問 29 あなたは葛飾区が道路をつくったり、作りかえる時に、どんなことに力を入れたら良いと思いますか（〇はいくつでも）。

図表Ⅳ-19-1 道路施策で力を入れてほしいこと



道路施策で力を入れてほしいことは、「自転車と歩行者が安全に利用できる道路をつくる」(47.3%)が5割近くと最も高く、次いで「歩道を広げる」(46.1%)、「自転車の駐輪場所をつくる」(32.6%)と続いている。(図表Ⅳ-19-1)

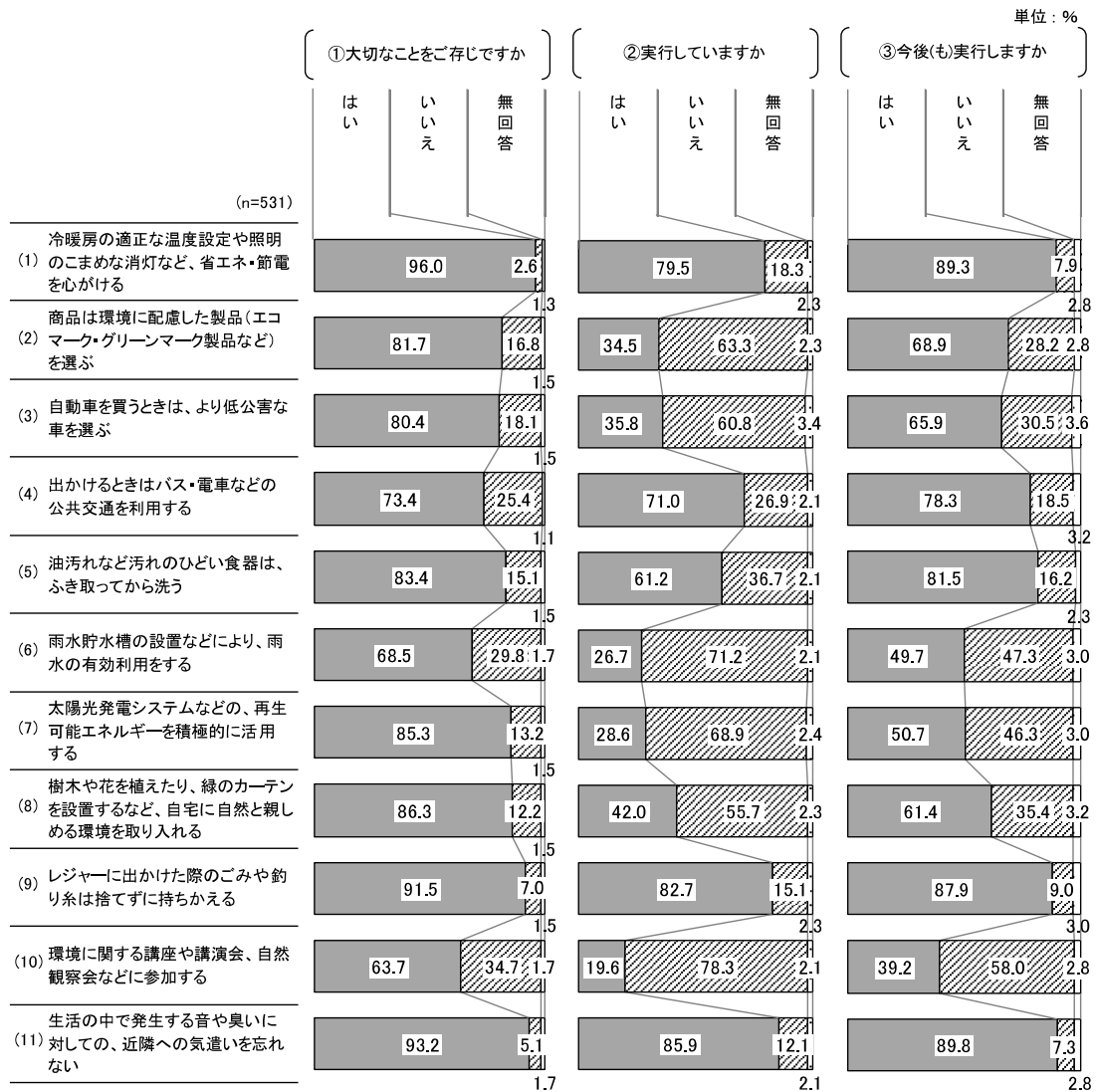
## 20. 環境

### (1) 環境保護のための行動

- ◆ 「生活の中で発生する音や臭いに対しての、近隣への気遣いを忘れない」が実行状況と今後の実行意思で最も高い

問 30 日頃の暮らしを少し工夫することで、地球温暖化対策や自然環境の保護など大切な環境を守ることができます。次にあげる1～11のような行動について、①大切なことだと思えますか。また、②既に実行していますか。③今後(も)実行しようと思えますか。①、②、③とも「はい」、「いいえ」のどちらかをお選びください(○はそれぞれ1つ)。

図表IV-20-1 環境保護のための行動





環境保護のための行動で大切だと思うことは、「冷暖房の適正な温度設定や照明のこまめな消灯など、省エネ・節電を心がける」(96.0%)が最も高く、次いで「生活の中で発生する音や臭いに対しての、近隣への気遣いを忘れない」(93.2%)、「レジャーに出かけた際のごみや釣り糸は捨てずに持ちかえる」(91.5%)と続いている。

一方、「雨水貯水槽の設置などにより、雨水の有効利用をする」(68.5%)、「環境に関する講座や講演会、自然観察会などに参加する」(63.7%)は、7割未満となっている。

環境保護のための行動で実行していることは、「生活の中で発生する音や臭いに対しての、近隣への気遣いを忘れない」(85.9%)が最も高く、次いで「レジャーに出かけた際のごみや釣り糸は捨てずに持ちかえる」(82.7%)、「冷暖房の適正な温度設定や照明のこまめな消灯など、省エネ・節電を心がける」(79.5%)と続いている。

一方、「環境に関する講座や講演会、自然観察会などに参加する」(19.6%)は、2割未満となっている。

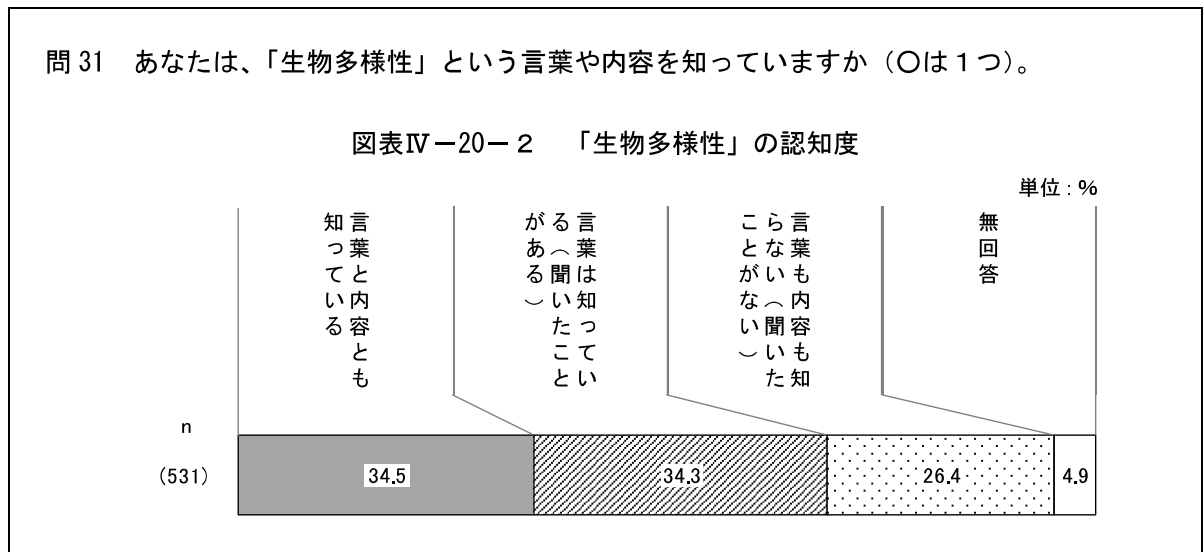
環境保護のための行動で今後(も)実行することは、「生活の中で発生する音や臭いに対しての、近隣への気遣いを忘れない」(89.8%)が最も高く、次いで「冷暖房の適正な温度設定や照明のこまめな消灯など、省エネ・節電を心がける」(89.3%)、「レジャーに出かけた際のごみや釣り糸は捨てずに持ちかえる」(87.9%)と続いている。

一方、「環境に関する講座や講演会、自然観察会などに参加する」(39.2%)は、4割未満となっている。

(図表IV-20-1)

## (2) 「生物多様性」の認知度

### ◆ 「言葉と内容とも知っている」が3割台半ば



「生物多様性」の認知度は、「言葉と内容とも知っている」(34.5%)が最も高く、次いで「言葉は知っている（聞いたことがある）」(34.3%)、「言葉も内容も知らない（聞いたことがない）」(26.4%)と続いている。(図表IV-20-2)

## 21. ごみの減量・リサイクル

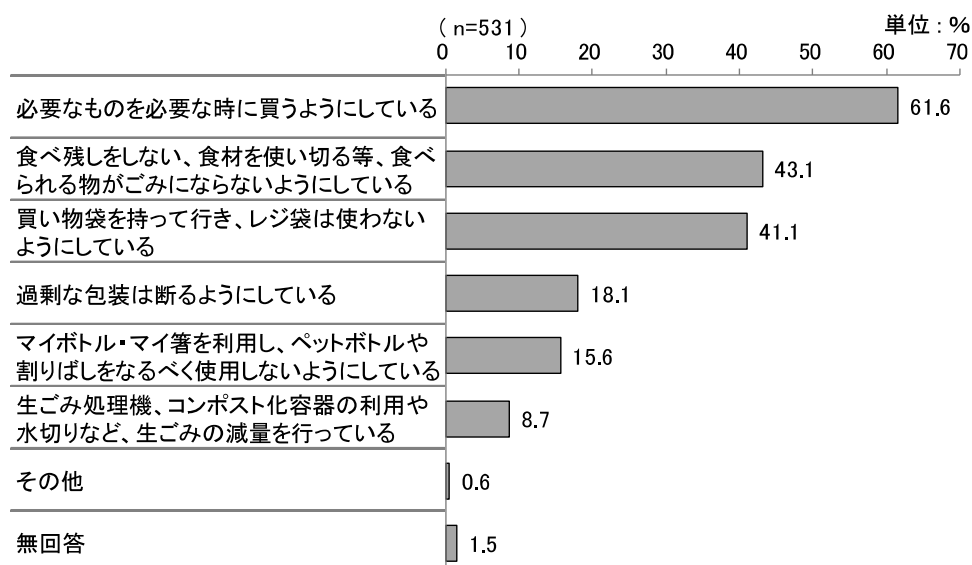
### (1) 「3つのR」の実施状況

#### <リデュース>

#### ◆ 「必要なものを必要な時に買うようにしている」が6割強

問 32 【リデュース】ごみの減量化を進めるためには、まず REDUCE（リデュース）を心掛け、次に REUSE（リユース）に取り組み、最後に RECYCLE（リサイクル）が重要です。それぞれの頭文字をとった「3つのR」の行動の中で日頃、あなたがごみの減量やリサイクルのために行っていることを次の中から選んでください（〇はいくつでも）。

図表IV-21-1 「3つのR」の実施状況<リデュース>



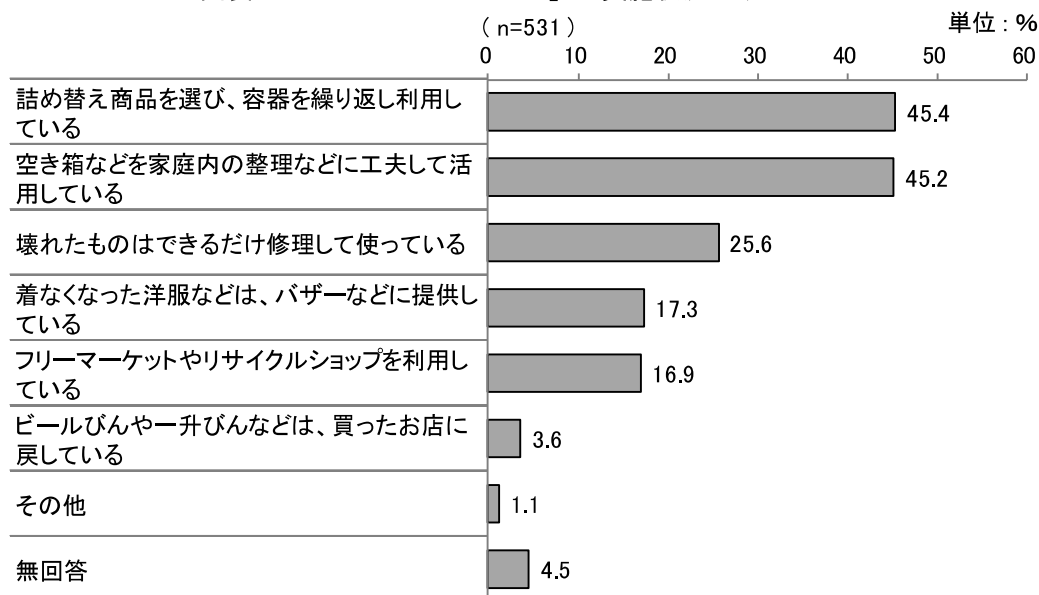
「3つのR」の実施状況（リデュース）は、「必要なものを必要な時に買うようにしている」（61.6%）が6割強と最も高く、次いで「食べ残しをしない、食材を使い切る等、食べられる物がごみにならないようにしている」（43.1%）、「買い物袋を持って行き、レジ袋は使わないようにしている」（41.1%）と続いている。（図表IV-21-1）

<リユース>

◆ 「詰め替え商品を選び、容器を繰り返し利用している」が4割台半ば

問 32 【リユース】ごみの減量化を進めるためには、まず REDUCE（リデュース）を心掛け、次に REUSE（リユース）に取り組み、最後に RECYCLE（リサイクル）が重要です。それぞれの頭文字をとった「3つのR」の行動の中で日頃、あなたがごみの減量やリサイクルのために行っていることを次の中から選んでください（○はいくつでも）。

図表IV-21-2 「3つのR」の実施状況<リユース>



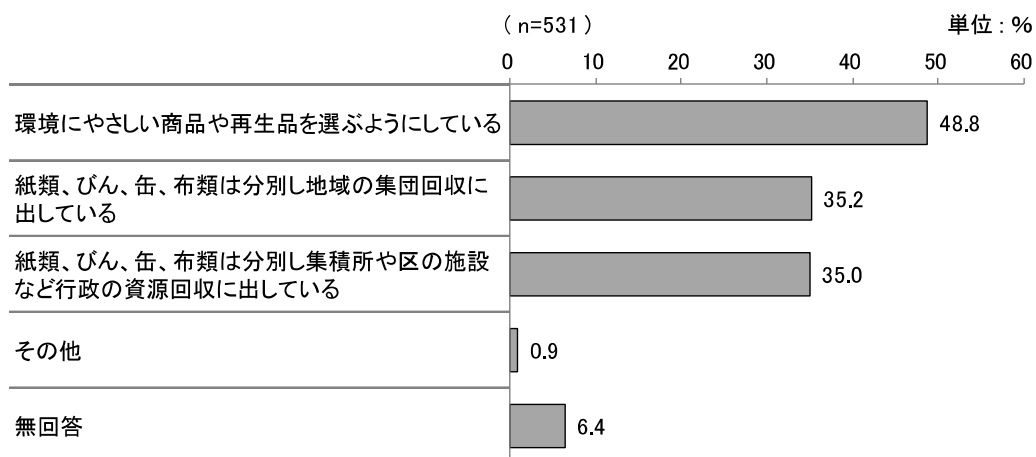
「3つのR」の実施状況（リユース）は、「詰め替え商品を選び、容器を繰り返し利用している」（45.4%）が4割台半ばと最も高く、次いで「空き箱などを家庭内の整理などに工夫して活用している」（45.2%）、「壊れたものはできるだけ修理して使っている」（25.6%）と続いている。（図表IV-21-2）

## <リサイクル>

### ◆ 「環境にやさしい商品や再生品を選ぶようにしている」が5割近く

問 32 【リサイクル】ごみの減量化を進めるためには、まず REDUCE（リデュース）を心掛け、次に REUSE（リユース）に取り組み、最後に RECYCLE（リサイクル）が重要です。それぞれの頭文字をとった「3つのR」の行動の中で日頃、あなたがごみの減量やリサイクルのために行っていることを次の中から選んでください（〇はいくつでも）。

図表IV-21-3 「3つのR」の実施状況<リサイクル>



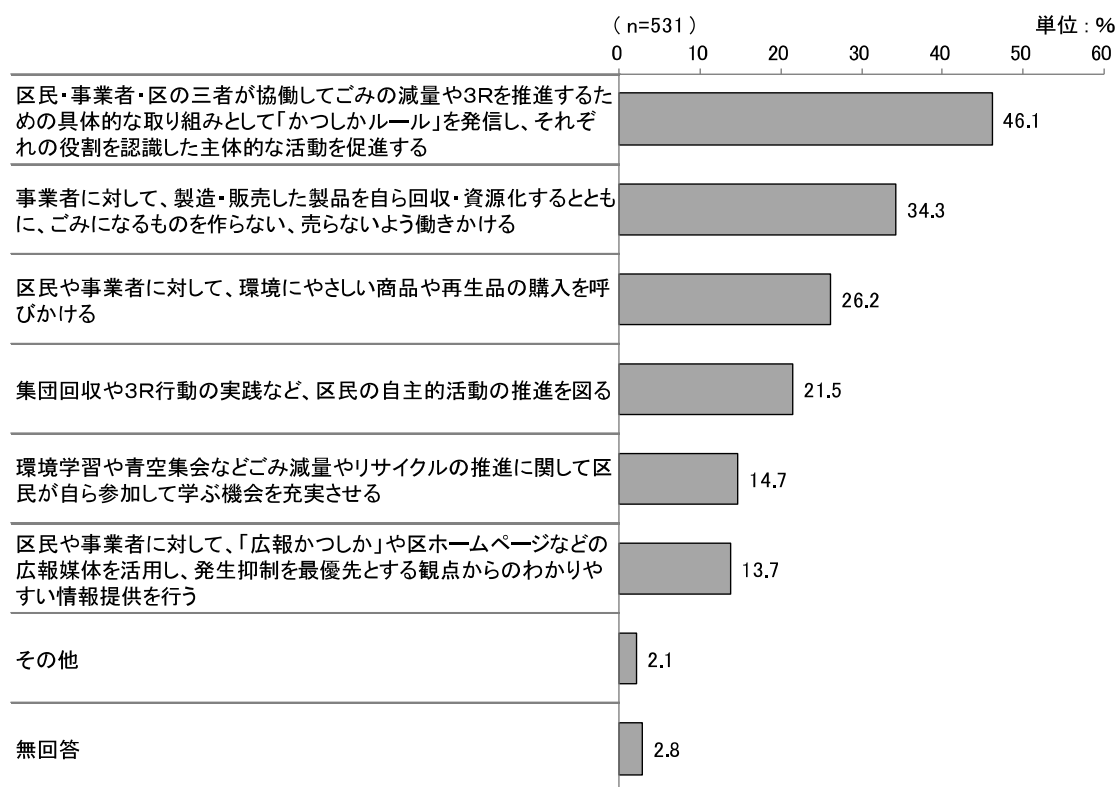
「3つのR」の実施状況（リサイクル）は、「環境にやさしい商品や再生品を選ぶようにしている」（48.8%）が5割近くと最も高く、次いで「紙類、びん、缶、布類は分別し地域の集団回収に出している」（35.2%）、「紙類、びん、缶、布類は分別し集積所や区の施設など行政の資源回収に出している」（35.0%）と続いている。（図表IV-21-3）

## (2) ごみの減量やリサイクルを推進するために重点を置くべきこと

- ◆ 「区民・事業者・区の三者が協働してごみの減量や3Rを推進するための具体的な取り組みとして『かつしかルール』を発信し、それぞれの役割を認識した主体的な活動を促進する」が5割近く

問 33 今後、葛飾区がごみの減量やリサイクルを推進するに当たって、より一層重点を置くべきだと思うことは何ですか（○は3つまで）。

図表Ⅳ-21-4 ごみの減量やリサイクルを推進するために重点を置くべきこと



ごみの減量やリサイクルを推進するために重点を置くべきことは、「区民・事業者・区の三者が協働してごみの減量や3Rを推進するための具体的な取り組みとして『かつしかルール』を発信し、それぞれの役割を認識した主体的な活動を促進する」(46.1%)が5割近くと最も高く、次いで「事業者に対して、製造・販売した製品を自ら回収・資源化するとともに、ごみになるものを作らない、売らないよう働きかける」(34.3%)、「区民や事業者に対して、環境にやさしい商品や再生品の購入を呼びかける」(26.2%)と続いている。(図表Ⅳ-21-4)

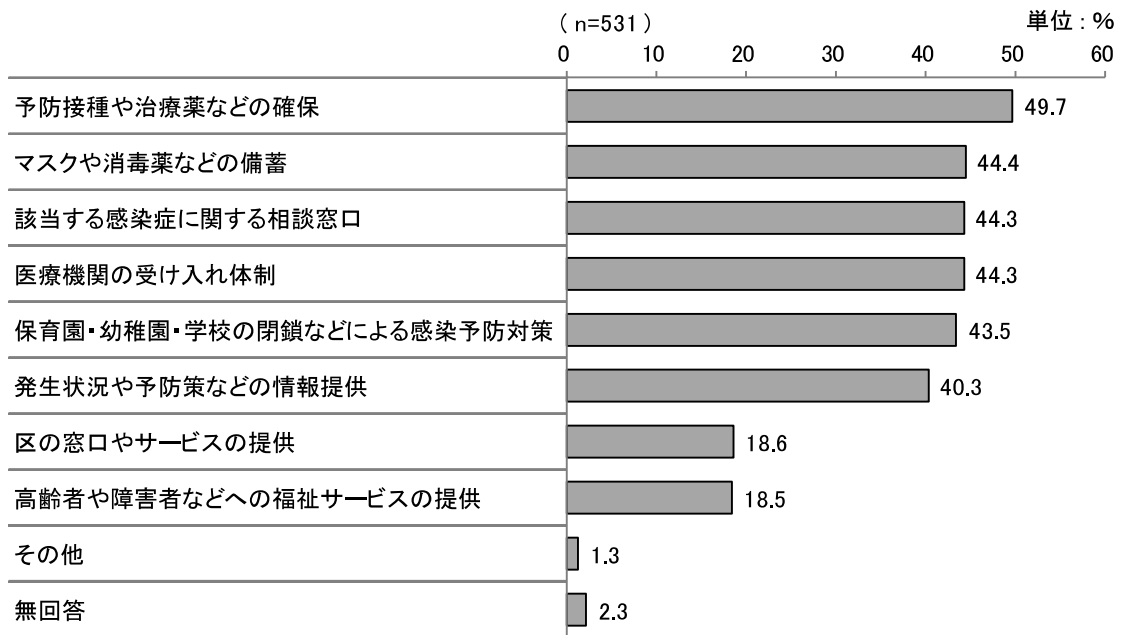
## 22. 感染症対策

### (1) 新興感染症が発生した場合に充実や継続するべきだと思うこと

#### ◆ 「予防接種や治療薬などの確保」が5割弱

問 34 エボラ出血熱やMERS、鳥インフルエンザ等の新興感染症が発生した場合、充実や継続するべきだと思うことは何ですか（〇はいくつでも）。

図表Ⅳ-22-1 新興感染症が発生した場合に充実や継続するべきだと思うこと



新興感染症が発生した場合に充実や継続するべきだと思うことは、「予防接種や治療薬などの確保」(49.7%)が5割弱と最も高く、次いで「マスクや消毒薬などの備蓄」(44.4%)、「該当する感染症に関する相談窓口」(44.3%)、「医療機関の受け入れ体制」(44.3%)と続いている。(図表Ⅳ-22-1)